KENWOOD

RAMPAGE

ミニディスク パーソナル ステレオシステム

取扱説明書

MDX-J3

お買い上げいただきまして、ありがとうございました。
ご使用の前に、この取扱説明書をお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、取扱説明書は大切に保管して、必要になったときに繰り返してお読みください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。
使用者の安全のため、必ず『安全上のご注意』をお読みのうえご使用ください。

MDLP

株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION

B60-5103-00 00 (MA) (J) FE 0107

ステレオ音のエチケット

楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。隣り近所への配慮を十分いたしましょう。ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。
特に静かな夜間には、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドホンをご利用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

このシンボルマークのある製品はケンウッドにおいて環境に対する影響を軽減した商品であることをお知らせするマークです。

ドルビーラボラトリーズの米国および海外特許に基づく許諾製品

あなたが録音または録画したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

デモンストレーションモードについて

本機には、デモンストレーション機能（表示のみ）があります。各動作を示す表示部が順に変化していきますが、音は変化しません。
なお、本機の電源が入っている間に停電があったり、電源プラグを抜き差ししたりしたときは、自動的にデモンストレーションモード（"DEMO ON"）になります。

デモンストレーションモードを解除する： "DEMO ON"中にSET／DEMOキーを押す。
デモンストレーションモードに設定する： 電源が入っている間に、2秒以上SET／DEMOキーを押す。

目次

⚠ このマークのついた項目は、安全確保のために必ずお読みください。

安全上のご注意

⚠ このページは、感電や火災からあなたを守るため、ご使用の前に必ずお読みください。

製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用の前によくお読みください。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為に、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。内容を良く理解してから、本文をお読みください。

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は、注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠記号は、禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用・故障・その他の不具合およびこの製品の使用によって受けられた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

この「安全上のご注意」には、当社のオーディオ機器全般についての内容を記載しています。
（説明項目の中には、操作説明部と重複する内容もあります）

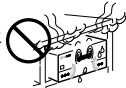
⚠ 警告

交流100ボルト以外の電圧で使用しない

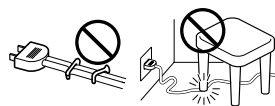
この機器は、交流100ボルト専用です。
指定以外の電源電圧で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

放熱に注意

設置の際は、壁から10cm以上離してください。
機器のカバー等にある穴は、放熱のための通風孔ですので、ふさがないようにご注意ください。

- あおむけや横倒し、逆さまにして使用しない。
- 風通しの悪い狭い所に押し込まない。
- 布を掛けたり、じゅうたん、布団の上において使用しない。

通風孔がふさがると、内部に熱がこもり、火災の原因となります。

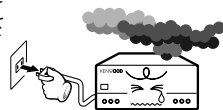
電源コードの取扱い

電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したり、ステープルや釘などで固定しないでください。また、電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。コードを敷物などで覆ってしまうと、気づかずに重いものをのせてしまうことがあります。
コードが傷つき、火災・感電の原因となります。

電源コードが傷ついたら（芯線の露出、断線など）修理をご依頼ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

風呂、シャワー室では使用しない

風呂、シャワー室など湿度の高いところや、水はねのある場所では使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

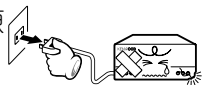
異常が起きた場合は

煙が出たり、変な臭いや音がする場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
煙や、異臭、異音が消えたのを確かめてから修理をご依頼ください。

⚠ 警告

電源プラグは清潔に

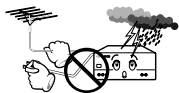
電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

落下した機器は使わない

機器を落としたり、カバーやケースがこわれた場合は、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、点検、修理をご依頼ください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

ケースを絶対に開けないでください

機器の裏ぶた、カバーを開けたり、改造をしないでください。
内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。
点検、修理は販売店または当社サービス窓口にご依頼ください。

雷が鳴り始めたら

アンテナ線や電源プラグには触れないでください。
感電の原因となります。

機器の内部に水や異物を入れない

機器の上に花びんやコップなど水の入った容器を置かないでください。
こぼれて中に入ると、火災・感電の原因となります。

機器の通風孔、開口部から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
火災・感電の原因となります。

内部に水や異物などが入った場合は、まず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、点検、修理をご依頼ください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

電池は放置しない

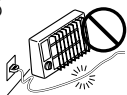
電池は、幼児の手の届かないところへ置いてください。ボタン電池など小型の電池は特にご注意下さい。
電池をあやまって飲み込むおそれがあります。
万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

乾電池は充電しない

乾電池は充電しないでください。
電池の破裂、液漏れにより、火災・けがの原因となります。

⚠ 注意

電源コードを熱器具に近付けない

電源コードを熱器具(ストーブ、アイロンなど)に近付けないでください。
コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

不安定な場所には置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。
落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

湿気やほこりのある場所に置かない

油煙や湯気の当たる調理台、加湿器のそば、湿気やほこりの多い場所には置かないでください。
火災・感電の原因となることがあります。

温度の高い場所には置かない

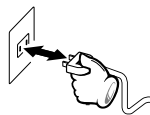
窓を閉めきった自動車の中や、直射日光があたる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。
本体や部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。

電源プラグの抜き差しは

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となることがあります。

電源プラグは、根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントに接続しないでください。
発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
必ずプラグを持って抜いてください。

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。
差し込みが不完全ですと発熱したりほこりが付着して火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

⚠ 注意

長期間使用しないときは

旅行などで長期間、ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
火災の原因となることがあります。

機器に乗らない

この機器に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。
倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。

指定以外のコードを使わない

関連機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。
指定以外のコードを使用したりコードを延長すると発熱し、やけどの原因となることがあります。

指をはさまない

お子様がカセットテープ、ディスク挿入口に手を入れないようご注意ください。
指がはさまれて、けがの原因となることがあります。

指定機器以外の物を乗せない

この機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きな物を置かないでください。
バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

レーザー光源はのぞかない

レーザー光源をのぞき込まないでください。
レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

アンテナ工事

アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。
アンテナは送配電線から離れた場所に設置してください。
アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。

ひび割れディスクは使わない

ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは、使用しないでください。
ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因となることがあります。

⚠ 注意

音量に気をつけて

はじめに音量（ボリューム）を最小にしてください。
突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。
ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにしてください。
耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

移動させる際は

移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。
コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

電池の取扱い

電池は誤った使い方をすると、破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を破損する原因となることがあります。
次のことを、必ず守ってください。

- 極性表示（プラス"+"とマイナス"-"の向き）に注意し、表示通りに入れてください。

- 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
- 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。

お手入れの際は

お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電の原因となることがあります。

3年に1度程度を目安に、機器内部の点検、清掃をお勧めします。販売店、または最寄りのケンウッドサービス窓口に費用を含めご相談ください。
内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。

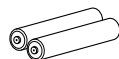
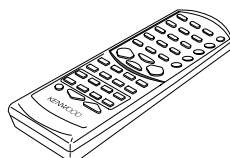
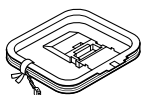
接続する

付属品を確かめる

電源コード（1個）

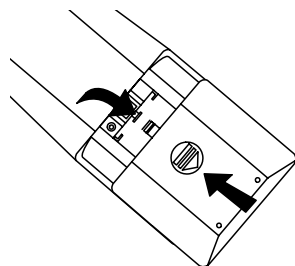
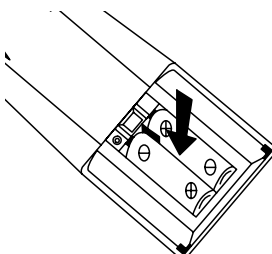
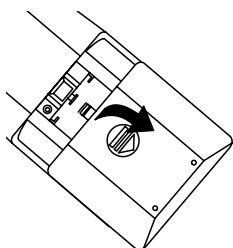
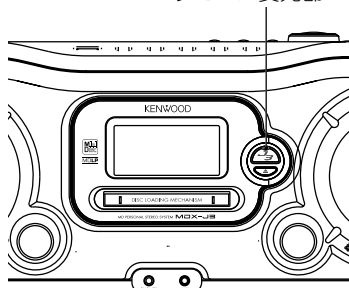
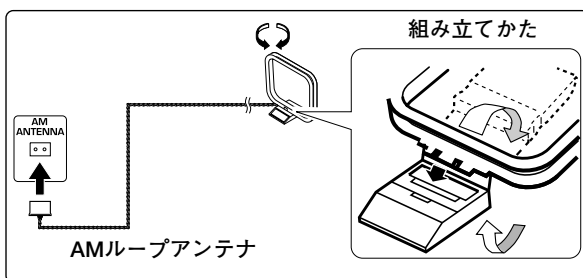
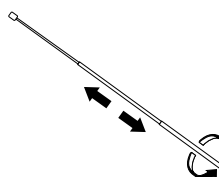
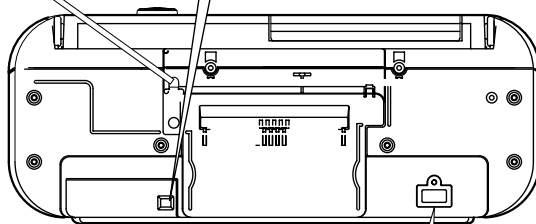
AM ループアンテナ（1個）

リモコン（1個）

リモコン用単4乾電池（2本）

リモコンに乾電池を入れる

(1) リモコン裏面の乾電池ぶたを開く。

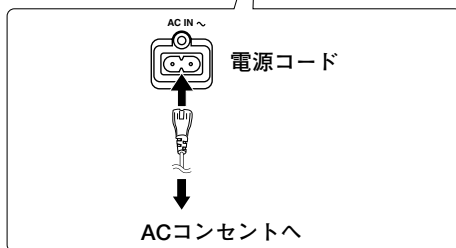
(2) 単4乾電池2個を極性マークに合わせて入れる。

(3) 乾電池ぶたを閉める。

- 付属の乾電池は動作チェック用のため、寿命が短いことがあります。あらかじめご了承ください。
- リモコンで操作できる距離が短くなったら、2個とも新しい乾電池と交換してください。
- リモコン受光部に直射日光や高周波点灯（インバーター方式等）の蛍光灯の光が当ると、正しく動作しないことがあります。誤動作を避けるために設置場所を変えてください。
- リモコンの各操作キーを押してから次のキーを押すときは、1秒以上の間隔をあけて押してください。
- リモコンの操作範囲の目安は、本体のリモコン受光部から約6m以内です。本体のリモコン受光部の正面に向けて操作してください。

付属品を接続する

付属の電源コードをAC100V、50/60Hzの電源コンセントへつなぎます。

- 電源コードを抜くときは、壁側のプラグから先に抜いてください。

AC IN ～

電源コード

ACコンセントへ

POINT

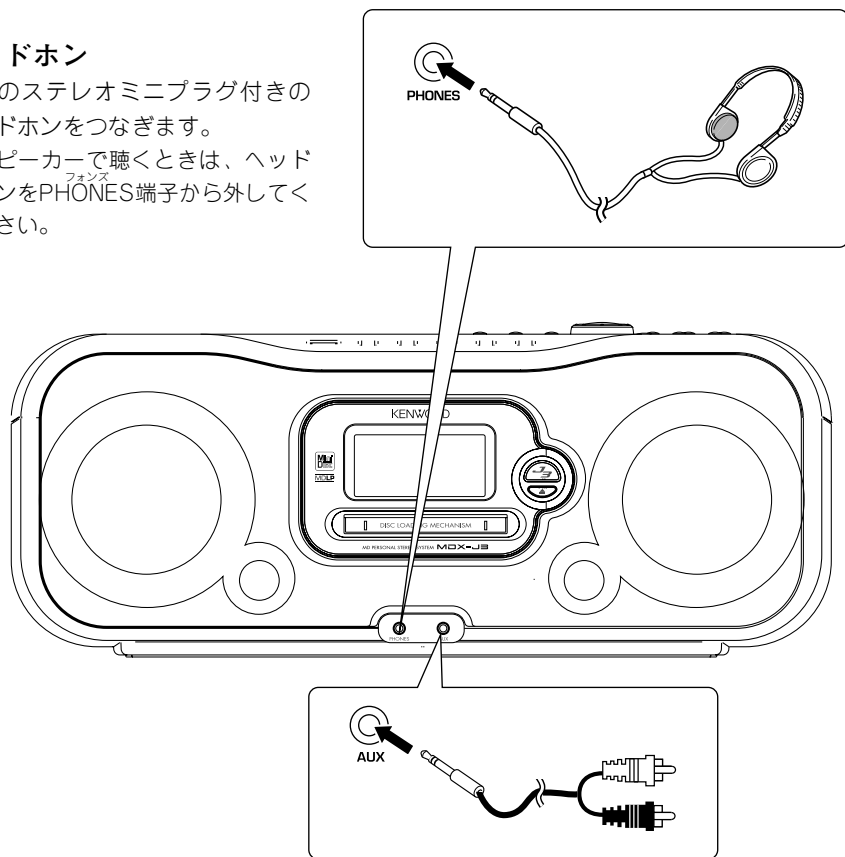
- すべての接続コードは確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、音が出なくなることや、雑音が発生することがあります。
- 接続コードを抜き差しするときは、必ず電源コードを電源コンセントから抜いてください。
- テレビの近くに置かないでください。スピーカーの磁気により、テレビに色ムラが発生することがあります。
- 電源コードを抜くときは、必ずスタンバイ状態(91ページ)にしてください。

次ページに続く➔

他の機器を接続する

ヘッドホン

別売のステレオミニプラグ付きのヘッドホンをつなぎます。

- スピーカーで聴くときは、ヘッドホンをPHONES端子から外してください。

AUX（外部機器）

別売のMDプレーヤー、カセットデッキ、イコライザー内蔵のレコードプレーヤー（P-110）などをステレオミニプラグ付きのオーディオケーブル（別売）を使って接続します。

- AUX 端子は入力端子です。外部機器への録音はできません。
- 外部の機器を接続するときは、関連機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- レコードプレーヤーを接続して、本機のすぐ横に置いた場合、音量を大きくしたときなどに"ワーン"というハウリング現象が起きる場合があります。この場合は、本機とレコードプレーヤーの間隔を離してお使いください。
- 外部機器の入力レベルは調整することができます。（37ページ）

時計を合わせる

タイマー機能を利用できるように、本機の時計を合わせてください。時間は12時間表示で表示されます。

本体のみ

1 **I/⏻ ON/STANDBY キー（リモコンはPOWER I/⏻キー）を押して、電源を入れる**

2 **MENU/🔑 キーを押す**

3 **VOLUME/MULTI-CONTROL つまみを回して、"TIME ADJUST" を選び、SET/DEMO キー（リモコンはSETキー）を押す**

TIME ADJUST?
AM 12:00

昼の12時は"PM12:00"、夜の12時は"AM12:00"と表示されます。

4 **VOLUME/MULTI-CONTROL つまみを回して、"時"を合わせてから SET/DEMO キー（リモコンはSETキー）を押す**

午前8時7分に合わせる例

5 **VOLUME/MULTI-CONTROL つまみを回して、"分"を合わせてからSET/DEMOキー（リモコンはSETキー）を押す**

POINT

- 停電があったときや、電源プラグをコンセントから抜いて3分以上たったとき、またはSTANDBY/TIMERインジケーターが緑色に点滅しているときは、もう一度時刻合わせをしてください。
- 手順5で時報と同時にSET/DEMOキー（リモコンはSETキー）を押すと、正確な時刻合わせができます。
- スタンバイ状態中にSTOP■キーを押すと時刻が確認できます。

時間の表示

スタンバイモード時の、時間表示のON/OFFを選ぶことができます。

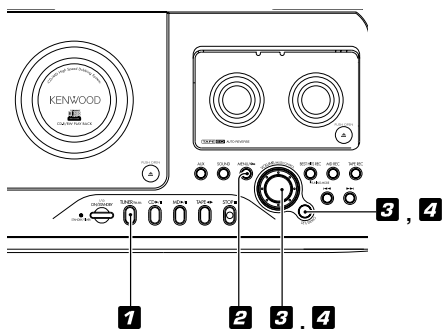
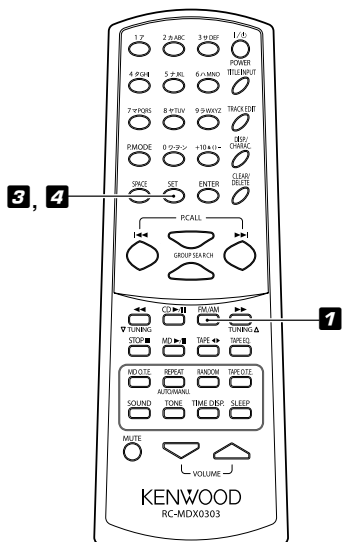
(1) MENU/🔑 キーを押す
(2) VOLUME/MULTI-CONTROL つまみを回して、"CLOCK ON/OFF" を選び、SET/DEMOキー（リモコンはSETキー）を押す
(3) VOLUME/MULTI-CONTROL つまみを回して、"CLOCK ON" または、"CLOCK OFF"を選びSET/DEMOキー（リモコンはSETキー）を押す

放送局を記憶させる

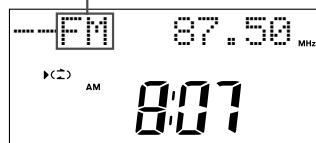
オートプリセット、マニュアルプリセットあわせて最大30局まで記憶させることができます。

放送局を自動的に記憶させる

（オートプリセット）

お住まいの都道府県名を選択して、近くで受信できる放送局を自動的にプリセット（記憶）することができます。プリセットされたFM放送を受信するときは、放送局名が表示されます。

1 TUNER/FM AMキー（リモコンはFM/AMキー）を押す

FM/AM表示

2 MENU/🔑キーを押す

3 VOLUME/MULTI-CONTROLつまみを回して、"ケンメイセッテイ?"を選び、SET/DEMOキー（リモコンはSETキー）を押す

4 VOLUME/MULTI-CONTROLつまみを回して、お住まいの都道府県名を選び、SET/DEMOキー（リモコンはSETキー）を押す

初期設定では"ケンメイミセッテイ？"が表示され、VOLUME/MULTI-CONTROLつまみを回すと、五十音順に並んだ都道府県名が表示されます。

オートプリセットが始まり、表示部に"AUTO PRESET"が点滅します。
先にFM放送局をメモリーし、次にAM放送局をメモリーします。
オートプリセットが終了すると、最初にプリセットされた放送局名が表示されます。

放送局名の表示を変えるには

放送地域によっては、周波数が同じでも放送局名が違う場合があります。希望する放送局名が表示されないときは、SET（セット）/DEMO（デモ）キー（リモコンはSET（セット）キー）を押して放送局名を変えます。

POINT

- 表示される放送局名は「エリア別FM放送局名自動表示リスト」（16ページ）に記載されている局のみです。
- 新たにオートプリセットで自動設定すると、今まで記憶していた放送局が新しい記憶内容に変更されます。
- お住まいの地域によっては、選局された放送局を良好に受信できない場合があります。

オートプリセットで放送局が記憶されないときは、マニュアルプリセットで記憶させてください。（17ページ）

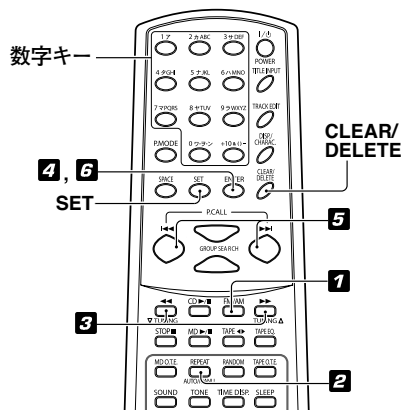
エリア別FM放送局名自動表示リスト(2001年6月現在)

	放送局	表示名
全国ネット	NHK - FM	NHK - FM
	テレビ放送1ch	TV - 1ch
	テレビ放送2ch	TV - 2ch
	テレビ放送3ch	TV - 3ch
北海道地方	エフエム北海道	AIR - G'
	エフエム・ノースウェーブ	north wave
東北地方	エフエム青森	FMアオモリ
	エフエム岩手	FMイワテ
	エフエム仙台	Date fm
	エフエム秋田	Co-much FM
	エフエム山形	BOY FMヤマガタ
	エフエム福島	フクシマFM
関東地方	エフエム東京	TOKYO FM
	エフエムジャパン	J-WAVE
	エフエムインターウェーブ	InterFM
	放送大学	ホウソウダイガク
	エフエム群馬	FMグンマ
	エフエム栃木	RADIO BERRY
	エフエム埼玉	NACK5
	エフエムサウンド千葉	bayfm
	横浜エフエム放送	Fm yokohama
	エフエム富士	FM-FUJI
中部地方	エフエムラジオ新潟	FMニイガタ
	新潟県民エフエム	FM Port.com
	長野エフエム放送	FMナガノ
	北日本放送	KNBラジオ
	富山エフエム放送	FMトヤマ
	エフエム石川	FM ISHIKAWA
	福井エフエム放送	FMフクイ

	放送局	表示名
中部地方	静岡エフエム放送	K・MIX
	エフエム愛知	FM AICHI
	エフエム名古屋	ZIP-FM
	愛知国際放送	RADIO-i
	エフエム岐阜	FMギフ
近畿地方	三重エフエム放送	FMミエ
	エフエム京都	アルファStation
	エフエム滋賀	E-Radio
	エフエム大阪	fm osaka
	エフエムはちまるに	FM802
	関西インターメディア	FM CO・CO・LO
	兵庫エフエムラジオ放送	Kiss-FM
中国・四国地方	岡山エフエム放送	FMオカヤマ
	エフエム山陰	V-air
	広島エフエム放送	ヒロシマFM
	エフエム山口	FMヤマグチ
	エフエム徳島	PassionWave
	エフエム香川	FMカガワ
	エフエム愛媛	FMエヒメ
	エフエム高知	FM KOCHI
九州・沖縄地方	エフエム福岡	FM FUKUOKA
	エフエム九州	CROSS FM
	エフエム佐賀	FMサガ
	エフエム長崎	SMILE-FM
	エフエム中九州	FMK
	エフエム大分	FM OITA
	エフエム宮崎	JOY-FM
	エフエム鹿児島	ミューFM
	エフエム沖縄	FM Okinawa
	NHK第一	NHKラジオ 1
	FEN沖縄	FENオキナワ
	九州国際エフエム	Love FM

放送局を手動で記憶させる

（マニュアルプリセット）

お好みの放送局だけを選んで、1局ずつ記憶（プリセット）できます。

リモコンのみ

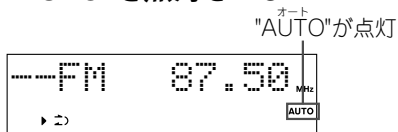
1 FM/AMキーを押して、"FM"または"AM"を選ぶ

FM/AM表示

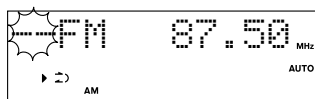
FM 87.50 MHz AUTO

2 AUTO/MANU.キーを押して、"AUTO"を点灯させる

"AUTO"が点灯

FM 87.50 MHz AUTO

3 ▽TUNINGキーまたはTUNING△キーを押して、記憶させたい放送局を受信する

4 受信中にENTERキーを押す

5 ーー点滅中に、⏮ P.CALLキーまたは⏭P.CALLキーを押して、プリセットナンバーを選ぶ

⏮P.CALLキーまたは⏭P.CALLキーを押したままにすると、プリセットナンバーをスキップします。

数字キーで選ぶこともできます。

例　13局目：+10、3

　　20局目：+10、+10、0

6 ENTERキーを押す

続けてプリセットするには

手順1～6を繰り返します。

プリセットした放送局を消去するには

プリセット選局し、リモコンのCLEAR/DELETEキーを押すとプリセット番号とCLEARが8秒間表示され、その間にSETキーを押すとプリセットした放送局を消去することができます。

消去されたプリセット番号以降のプリセット番号は前に調整されます。

ただし、30局目は消去されません。

電波の弱いラジオ局をプリセットするには

手順2でAUTO/MANU.キーを押して"AUTO"を消灯させ、マニュアル選局にします。

テレビ放送（1ch～3chのみ）を受信するには

周波数を次のように合わせます。

1chのとき：　95.75MHz

2chのとき：101.75MHz

3chのとき：107.75MHz

テレビ放送はモノラル受信になります。

POINT

- 同じ番号に重ねて記憶させると、新しい記憶内容に変更されます。

CD、CD-R、CD-RWを聴く

CDを再生してみましょう。

1 I/⏻ ON/STANDBY キー（リモコンは POWER I/⏻キー）を押して、電源を入れる

2 CDを入れる

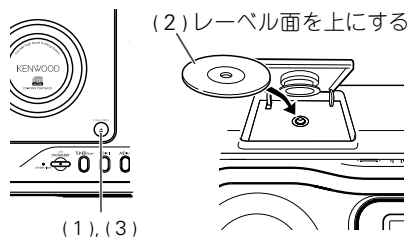
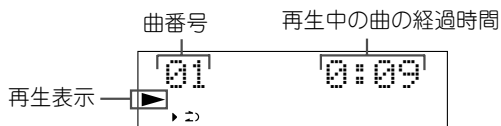
CDは水平に置いてください。斜めに置くと、故障の原因となります。

（1）CDドアの▲PUSH OPEN部分を押して、CDドアを開ける。

（2）CDを入れる。

（3）CDドアの▲PUSH OPEN部分を押して、CDドアを閉める。

3 CD ▶/IIキーを押す

曲番号
再生中の曲の経過時間
01
0:09
再生表示

4 VOLUME/MULTI-CONTROLつまみを回して、音量を調整する または、リモコンのVOLUMEキーを押す

キーの操作

目的	操作
停止する	STOP■キーを押す。
一時停止する	CD ►/❚❚キーを押す。もう一度押すと再生を始めます。
曲を飛び越す	次の曲を選ぶときは、►►❙キーを押す。 前の曲を選ぶときは、❙◄◄キーを素早く2回押す。
早送りをする	再生中リモコンの►►キーを押したままにして、聴きたいところで離す。
早戻しをする	再生中リモコンの◄◄キーを押したままにして、聴きたいところで離す。
好きな曲から聴く	聴きたい曲番号をリモコンの数字キーを使って入力する。 例　10曲目:+10､0　23曲目:+10､+10､3 "PGM"が点灯しているときは､リモコンのP.MODEキーを押して消灯させてください。

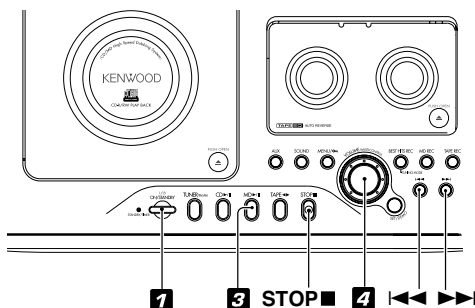
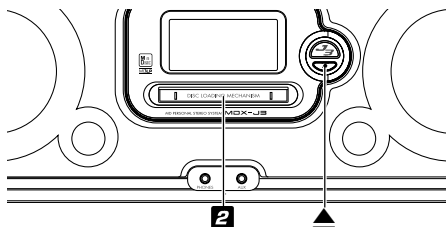
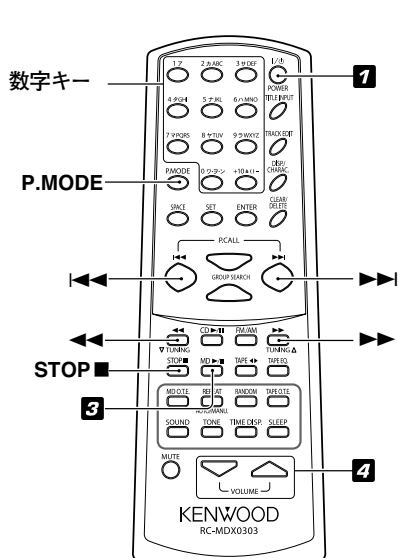
ディスクを取り出すには

STOP■キーを押し、再生を止めてから、CDドアの⏏PUSH OPEN部分を押して、CDドアを開けます。

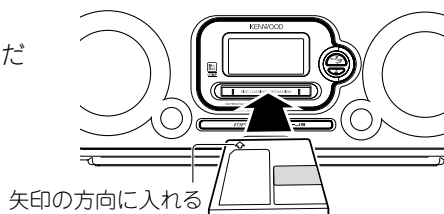
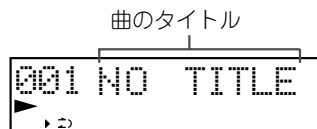
POINT

- ディスクが回転しているときは、フタを開けないでください。
- 無理にCDドアを開閉すると、故障の原因となります。
- あらかじめCDを入れておくと、スタンバイ状態中(91ページ)にCD ►/❚❚キーを押すだけで電源が入り、再生が始まります。(ワンタッチオペレーション)
- 本機では､CD-TEXT対応のディスクを再生すると､CDに収録されたディスクタイトルと曲のタイトルがアルファベットや数字の場合､自動的に表示されます｡CD-TEXT対応のディスクでも表示できないものもあります。
- 再生できるCDについては､「本機で使用できるディスクについて」(79〜80ページ)をご覧ください。
- 本機ではファイナライズされていないCD-R/RWは再生できません。
- 本機では、CD-R/RWのデータ信号など、音楽データ以外のデータは再生できません。CDグラフィックスなど色々なデータを含むディスクを本機に入れても、音楽データ以外のデータは本機では再生できません。
- 録音機器の録音特性(ピックアップなど)、使用するCD-R/RWのプロパティや録音状況などによっては、本機でCD-R/RWを再生できないことがあります。

MDを聴く

MDを再生してみましょう。

1 I/⏻ ON/STANDBY キー（リモコンはPOWER I/⏻キー）を押して、電源を入れる

2 MDを入れる

MDを本機の挿入口へ確実に差し込んでください。

3 MD ►/❚❚キーを押す

4 VOLUME/MULTI-CONTROLつまみを回して、音量を調整する
または、リモコンのVOLUMEキーを押す

キーの操作

目的	操作
停止する	STOP■キーを押す。
一時停止する	MD ▶/❚❚キーを押す。もう一度押すと再生を始めます。
曲を飛び越す	次の曲を選ぶときは、▶▶❙キーを押す。 前の曲を選ぶときは、❙◀◀キーを素早く2回押す。
早送りをする	再生中リモコンの▶▶キーを押したままにして、聴きたいところで離す。
早戻しをする	再生中リモコンの◀◀キーを押したままにして、聴きたいところで離す。
好きな曲から聴く	聴きたい曲番号をリモコンの数字キーを使って入力する。 例　10曲目:+10、0　23曲目:+10、+10、3　102曲目:+10×10回、2 "PGM"が点灯しているときは、リモコンのP.MODEキーを押して消灯させてください。

ディスクを取り出すには

STOP■キーを押し、再生を止めてから、▲キーを押します。

MDの再生モード表示について

MDの曲は、録音したときのモードにしたがって再生されます。再生が始まると、再生モードが表示されます。

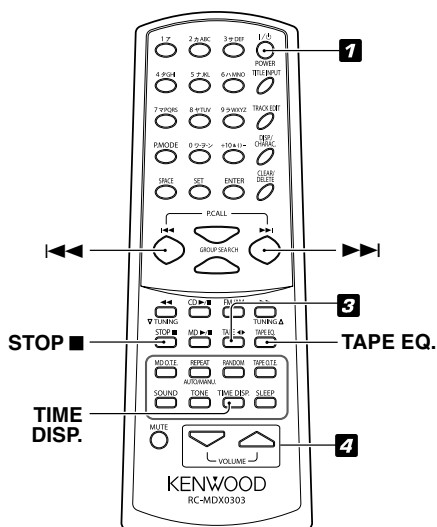
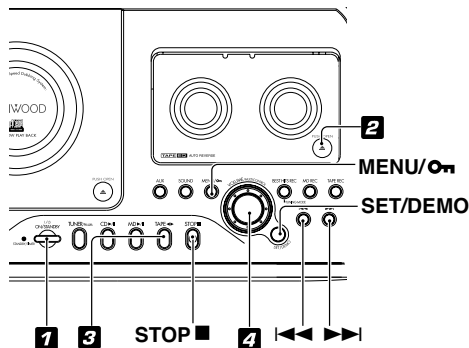
消灯　：標準ステレオ録音した曲（*MDLPに対応していないMDレコーダーで録音した曲）を再生しているとき
MONO　：モノラル長時間録音した曲を再生しているとき
LP2　：ステレオ2倍長時間録音した曲を再生しているとき
LP4　：ステレオ4倍長時間録音した曲を再生しているとき

* MDLPマークは、MD規格に適合した新しい音声圧縮方式ATRAC3を採用して、ステレオ2倍（または4倍）長時間録音・再生モードの機能を持ったMDレコーダーやMDプレーヤー、またはATRAC3 による音声録音されているMDメディア（再生専用MD）に表示されています。

POINT

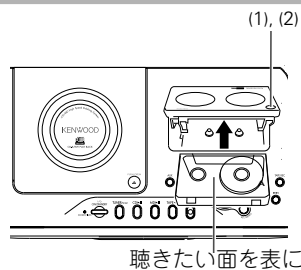
- スタンバイ状態（91ページ）では、MDを出し入れすることはできません。無理にMDを入れると、故障の原因となります。
- あらかじめMDを入れておくと、スタンバイ状態中にMD ▶/❚❚キーを押すだけで電源が入り、再生が始まります。（ワンタッチオペレーション）
- MDにタイトルが記録されているときは、そのディスクのタイトルまたは曲のタイトルが表示されます。

テープを聴く

テープを再生してみましょう。

90分を越えるテープは大変薄く、ピンチローラーに巻き付いたり、切れるなどの不具合が起こりやすいので、ご使用にならないでください。

1 I/⏻ ON/STANDBY キー（リモコンは POWER I/⏻キー）を押して、電源を入れる

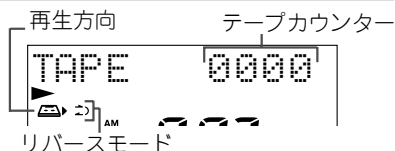
2 テープを入れる

(1) ▲PUSH OPEN部分を押して、カセットホルダーを開け、テープを入れます。

(2) ▲PUSH OPEN部分を押して、カセットホルダーを閉めます。

3 TAPE ◄► キーを押す

押すたびにテープの再生方向が切り換わります。

"▭►"：表面を再生します。

"◄▭"：裏面を再生します。

再生方向　テープカウンター

TAPE　0000

リバースモード

4 VOLUME/MULTI-CONTROLつまみを回して、音量を調整する または、リモコンのVOLUMEキーを押す

キーの操作

目的	操作
停止する	STOP■キーを押す。
早送りをする	停止中に"▭▶"のときは▶▶|キー("◀▭"のときは|◀◀キー)を押す。
巻き戻しをする	停止中に"▭▶"のときは|◀◀キー("◀▭"のときは▶▶|キー)を押す。

テープを取り出すには

STOP■キーを押し、再生を止めてから⏏PUSH OPEN部分を押します。

ドルビー録音されたテープを聴く(TAPE EQ.)

ドルビー録音されたテープを聴くときのみ使用します。高音域のノイズを低減することができます。

リモコンのTAPE EQ.キーを押して、"TAPE EQ."を点灯させます。

- ドルビー録音をしていないテープの場合は、正常な音で再生されません。リモコンのTAPE EQ.キーを押して、"TAPE EQ."を消灯させてください。

テープのリバースモードを設定する(TAPE RVS.)

(1) MENU/🔑 キーを押す。

(2) VOLUME/MULTI-CONTROLつまみを回して"TAPE RVS.?"を選んでから、SET/DEMOキー(リモコンはSETキー)を押す。

(3) VOLUME/MULTI-CONTROLつまみを回して好みのリバースモードを選んでから、SET/DEMOキー(リモコンはSETキー)を押す。

"⇄" ： ONE WAY 片面のみを再生して止まります。

"⇄" ： REVERSE 両面を再生して止まります。ただし、"◀▭"のときは、片面のみ再生して止まります。

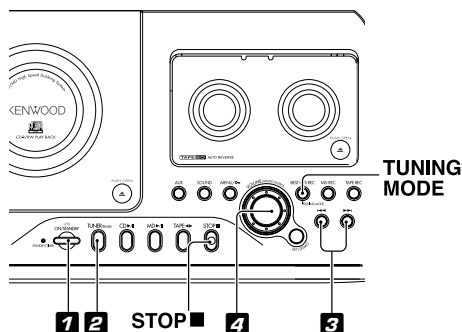
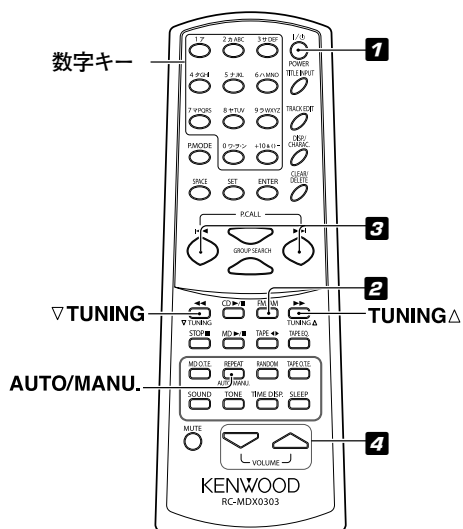
"⇄" ： ENDLESS 両面を繰り返し再生します。

POINT

- あらかじめテープを入れておくと、スタンバイ状態中(91ページ)にTAPE ◀▶キーを押すだけで電源が入り、再生が始まります。(ワンタッチオペレーション)
- カセットホルダーを開閉すると、テープカウンターは"0000"に戻ります。
- 本機はノーマル(TYPE I)テープが再生可能です。
- 再生中にはカセットホルダーを開けないでください。故障の原因となることがあります。

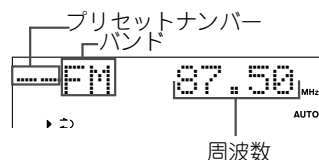
ラジオを聴く

あらかじめ記憶（プリセット）させた放送局をワンタッチで選んで聴くことができます。
プリセットのしかたについては「放送局を記憶させる」（14〜17ページ）をご覧ください。

数字キー
▽TUNING
TUNING△
AUTO/MANU.
TUNING MODE
STOP■

1 I/⏻ ON/STANDBYキー（リモコンはPOWER I/⏻キー）を押して、電源を入れる

2 TUNER/FM AMキー（リモコンはFM/AMキー）を押す

3 |◀◀ キーまたは▶▶| キー（リモコンは|◀◀P.CALLキーまたは▶▶|P.CALLキー）を押して、放送局を選ぶ

押すたびに、記憶されている放送局が順に切り換わります。

4 VOLUME/MULTI-CONTROLつまみを回して、音量を調整する
または、リモコンのVOLUMEキーを押す

数字キーで放送局を選ぶには

聴きたい放送局のプリセット番号をリモコンの数字キーを使って入力します。

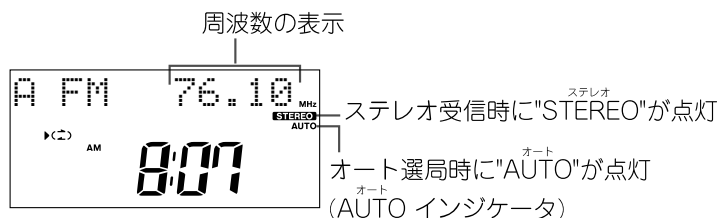
例　23局目：+10、+10、3　30局目：+10、+10、+10、0

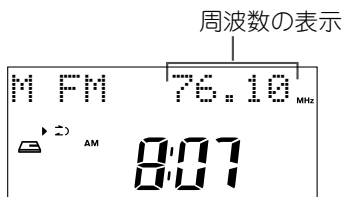
記憶させていない放送局を選ぶ

受信状態によって、オート選局とマニュアル選局に切り換えることができます。

(1) 本体の TUNING MODE キー（リモコンはAUTO/MANU.キー）を押して、"AUTO"（オート選局モード）または"MANUAL"（マニュアル選局モード）を選ぶ。
"AUTO"：受信の状態が良いときはオート選局モード（ステレオ受信）を選びます。
"MANUAL"：雑音が入るときはマニュアル選局モード（モノラル受信）を選びます。
- 通常は、"AUTO"（オート選局、ステレオ受信）にしておきます。

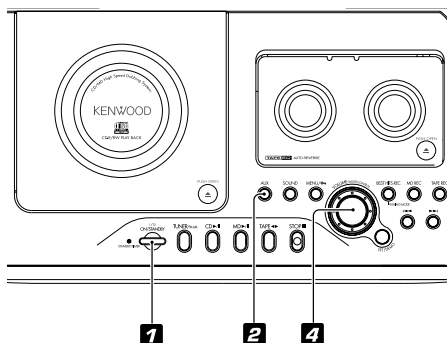
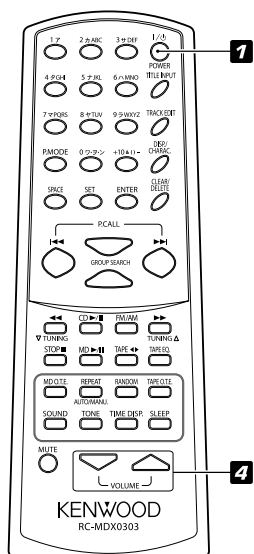
(2) "AUTO"または"MANUAL"が表示している間に本体の⏮キーまたは⏭キーを押して選局する。（リモコンのAUTO/MANU.キーを押したときはAUTOインジケータが点灯または消灯するので▽TUNING キーまたはTUNING△キーを押して選局する。）

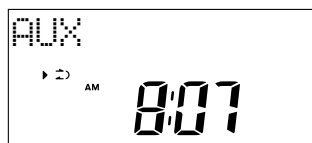
オート選局：押すたびに次の放送局を自動的に受信します。

マニュアル選局：希望する放送局を受信するまで押し続けます。

次ページに続く➔

POINT

- スタンバイ状態中（91ページ）にTUNER/FM AMキー（リモコンはFM/AMキー）を押すだけで電源が入り、受信状態になります。（ワンタッチオペレーション）
- マニュアル, 選局時に⏮キーまたは⏭キー（リモコンは▽TUNING キーまたはTUNING△キー）を押したままにすると放送局をスキップします。

外部入力機器からの音を聴く

外部入力機器からの音を聴いてみましょう。

1 I/⏻ ON/STANDBY キー（リモコンは POWER I/⏻キー）を押して、電源を入れる

2 AUXキーを押す

3 接続した機器を再生する

4 VOLUME/MULTI-CONTROLつまみを回して、音量を調整する
またはリモコンのVOLUMEキーを押す

CDをMDに録音する(MD O.T.E.)

(ワンタッチエディット)

CDの全曲をワンタッチでMDに録音(全曲録音)できます。今聴いている曲をワンタッチで曲の始めから録音(1曲録音)することもできます。

1 I/⏻ ON/STANDBY(オン/スタンバイ)キー(リモコンはPOWER(パワー) I/⏻キー)を押して、電源を入れる

2 CDを入れる

CDは水平に置いてください。斜めに置くと、故障の原因となります。

(1) CDドアの▲PUSH OPEN(プッシュ オープン)部分を押して、CDドアを開ける。

(2) CDを入れる。

(3) CDドアの▲PUSH OPEN(プッシュ オープン)部分を押して、CDドアを閉める。

CDが再生中のときは、STOP(ストップ)■キーを押して、停止させてください。

3 録音可能なMDを入れる

MDを本機の挿入口へ確実に差し込んでください。

4 リモコンのMD O.T.E.(ワンタッチエディット)キーを押す

本体で操作するときは:

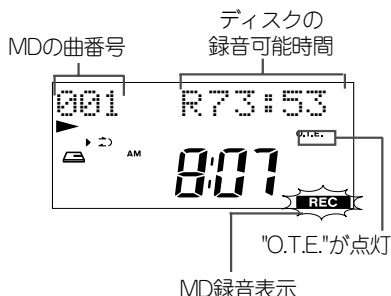
(1) MENU(メニュー)/🔑キーを押す。

(2) VOLUME(ボリューム)/MULTI(マルチ)-CONTROL(コントロール)つまみを回して"REC(レック) OPTIONS(オプションズ)?"を選び、SET(セット)/DEMO(デモ)キーを押す。

(3) VOLUME(ボリューム)/MULTI(マルチ)-CONTROL(コントロール)つまみを回して"CD→MD"を選び、SET(セット)/DEMO(デモ)キーを押す。

(4) VOLUME(ボリューム)/MULTI(マルチ)-CONTROL(コントロール)つまみを回して"DIGITAL(デジタル)"または"ANALOG(アナログ)"を選び、SET(セット)/DEMO(デモ)キーを押す。

リモコンで本機能を選んだ場合は自動的にデジタル録音になります。

通常の速度で録音する時は、デジタル録音かアナログ録音を選ぶことができます。

今聴いているCDの曲を録音する(1曲録音)

(1) 録音したいCDの曲を再生する。

(2) リモコンのMD O.T.E.(ワンタッチエディット)キーを押す。

本体で操作するときは手順4をご覧ください。

再生中の曲の最初に戻ってから、録音が始まります。

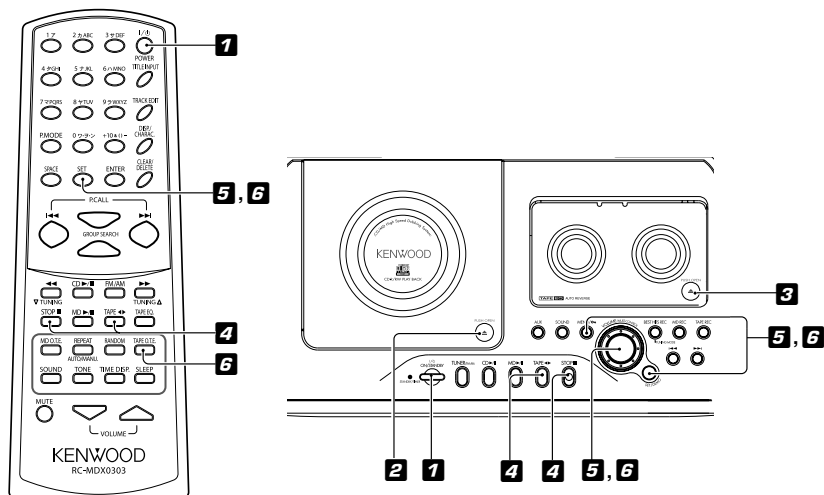
録音を途中でやめるには

STOP(ストップ)■キーを押します。

POINT

- "MD WRITING(ライティング)"表示中は、電源を切ったり、振動や衝撃を加えないでください。
- 録音可能なMDについては、「MDの取り扱いかた」(80ページ)をご覧ください。
- CDをMDに倍速で録音することもできます。(42ページ)
- MD REC(レック) MODE(モード)で設定した内容で録音されます。(41ページ)
- プログラムとランダムモードのときは、MD O.T.E.(ワンタッチエディット)録音ができません。プログラムとランダムモードを解除してから操作してください。(38〜39ページ)
- ディスクが回転しているときは、フタを開けないでください。

CDをテープに録音する(TAPE O.T.E.)

CDの全曲をワンタッチでテープに録音(全曲録音)できます。今聴いている曲をワンタッチで最初から録音(1曲録音)することもできます。

1 I/⏻ ON/STANDBY キー(リモコンは POWER I/⏻キー)を押して、電源を入れる

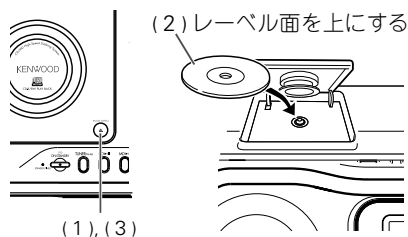
2 CDを入れる

CDは水平に置いてください。斜めに置くと、故障の原因となります。

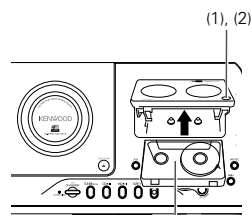
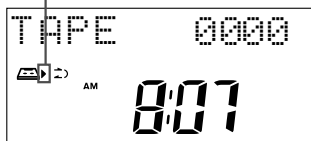
(1) CDドアの⏏PUSH OPEN部分を押して、CDドアを開ける。

(2) CDを入れる。

(3) CDドアの⏏PUSH OPEN部分を押して、CDドアを閉める。

CDが再生中のときは、STOP■キーを押して、停止させてください。

3 録音を始めたい面を表にして、録音可能なテープを入れる

(1) ⏏PUSH OPEN部分を押して、カセットホルダーを開け、テープを入れます。

(2) ⏏PUSH OPEN部分を押して、カセットホルダーを閉めます。

4 TAPE ◀▶キーを押して" ▶"を点灯させ、STOP■キーを押す

5 お好みのリバースモードを選ぶ

(1) MENU/🔑 キーを押す。

(2) VOLUME/MULTI-CONTROLつまみを回して、"TAPE RVS.?"を選び、SET/DEMOキー（リモコンはSETキー）を押す。

(3) VOLUME/MULTI-CONTROLつまみを回して、好みのリバースモードを選ぶ。

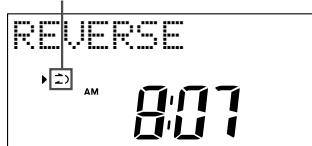
"⇄"：ONE WAY 片面の録音が終了すると停止します。

"⇄)"：REVERSE 両面の録音が終了すると停止します。ただし、"▭◀"のときは、片面のみ録音して止まります。

"(⇄)"：ENDLESS 両面の録音が終了すると停止します。ただし、"▭◀"のときは、片面のみ録音して止まります。

リバースモード

REVERSE

AM 8:07

6 リモコンのTAPE O.T.E.キーを押す

本体で操作するときは：

(1) MENU/🔑 キーを押す。

(2) VOLUME/MULTI-CONTROLつまみを回して"REC OPTIONS"を選び、SET/DEMOキーを押す。

(3) VOLUME/MULTI-CONTROLつまみを回して"CD→TAPE"を選び、SET/DEMOキーを押す。

次ページに続く➔

今聴いているCDの曲を録音する（1曲録音）

（1） 録音したいCDの曲を再生する。

（2） リモコンのTAPE O.T.E.キーを押します。
本体で操作するときは手順6（31ページ）をご覧ください。
再生中の曲の最初に戻ってから、録音が始まります。

録音を途中でやめるには

STOP■キーを押します。

POINT

- 本機はノーマル（TYPE I）テープで録音が可能です。ハイ（TYPE II）、メタル（TYPE IV）テープでの録音はできません。
- 録音可能なテープについては、「テープの取り扱いかた」（81ページ）をご覧ください。
- 録音中にはカセットホルダーを開けないでください。故障の原因となることがあります。テープを取り出すときは、必ず停止させてください。
- プログラムとランダムモードのときは、TAPE O.T.E.録音ができません。プログラムとランダムモードを解除してから操作してください。（38〜39ページ）
- ディスクが回転しているときは、フタを開けないでください。

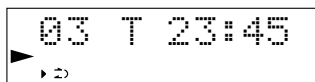
表示について

CDの表示を見る

リモコンのTIME DISP.キーを押すたびに、ディスプレイの表示が切り換わります。

1. 再生中の曲の経過時間

2. 再生中の曲の残り時間

3. ディスク全体の経過時間

4. ディスク全体の残り時間

03 T-36:15

POINT

- 1曲リピート再生やランダム再生のときは、1と2のみ表示します。
- 表示時間の合計が1000分以上になると、"- - : - -"と表示されます。

テキスト情報を見るには（CD-TEXT）

本機では、CD-TEXT対応のディスクを再生すると、CDに収録されたディスクタイトルと曲のタイトルがアルファベットや数字の場合、自動的に表示されます。
CD-TEXT対応のディスクでも表示できないものもあります。表示できる文字数は、1000までです。それ以上は"TEXT FULL"と表示されます。
テキスト情報が表示部に表示しきれないときは、リモコンのDISP./CHARAC.キーを押します。表示がスクロールして、表示されていなかった部分を確認することができます。

次ページに続く➔

MDの表示を見る

再生時

リモコンのTIME DISP.キーを押すたびに、ディスプレイの表示が切り換わります。

1. 再生中の曲の経過時間

2. 再生中の曲の残り時間

003 -2:37
AM

3. ディスク全体の経過時間

003 23:45
AM

4. ディスク全体の残り時間

003 -36:15
AM

5. ディスクの録音可能時間

POINT

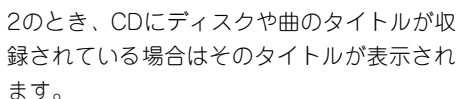
- 1曲リピート再生やランダム再生のときは、1と2のみ表示します。
- 表示時間の合計が1000分以上になると、"- - : - - "と表示されます。

録音時

リモコンの DISP./CHARAC.キーを押すたびに、ディスプレイの表示が切り換わります。

1. ディスクの録音可能時間

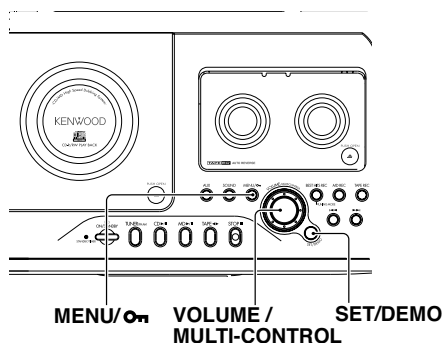
2. 録音している音楽ソース

2のとき、CDにディスクや曲のタイトルが収録されている場合はそのタイトルが表示されます。

ディスクのタイトルや曲のタイトルを見るには

MDにディスクのタイトルが記憶されているときは、停止中にディスクのタイトルを自動的に表示します。
MDに曲のタイトルが記憶されているときは、再生中に曲のタイトルを自動的に表示します。
タイトルが表示部に表示しきれないときは、リモコンのDISP./CHARAC.キーを押します。表示がスクロールされ、表示されていなかった部分を確認することができます。

POINT

- タイトルがディスクに登録されていないときは、" · NO TITLE · "が表示されます。
- 1曲も録音されていないときは、"BLANK DISC"が表示されます。

コントラストを調整する

本体のみ

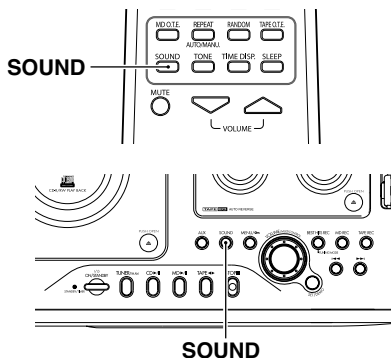
1 MENU/ キーを押す

2 VOLUME/MULTI-CONTROLつまみを回して"CONTRAST?"を選び、SET/DEMOキー（リモコンはSETキー）を押す

3 VOLUME/MULTI-CONTROLつまみを回して、好みのコントラストに調整する

0から3の範囲で調整できます。

音質を調整する

低音と高音を強調する
(EX.BASS / LOUDNESS)

SOUNDキーを繰り返し押して、好みの音質を選ぶ

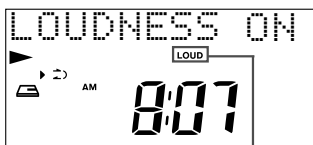
"EX. BASS"が点灯：低音域を強調します。

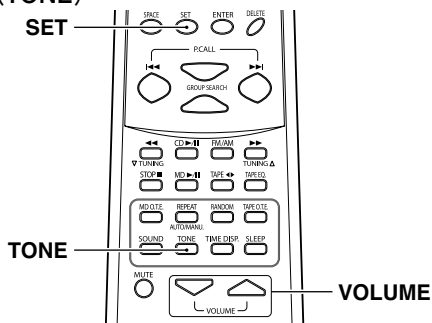
"LOUD"(LOUDNESS)が点灯：音量に合わせて低高音域を強調します。（小音量時に有効です）

"EX. BASS""LOUD"が消灯(SOUND MODE OFF)：TONE機能で設定した音質になります。

EX.BASSを選んだとき

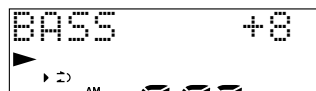
"EX. BASS"が点灯

LOUDNESSを選んだとき

"LOUD"が点灯

低音と高音を細かく調整する
(TONE)

リモコンのみ

1 リモコンのTONEキーを繰り返し押して、"BASS"または" TREBLE"を選ぶ

"BASS"：低音域を調整します。
"TREBLE"：高音域を調整します。

BASSを選んだとき

2 VOLUMEキーを押して、好みの音質に調整する

－8から+8の範囲で調整できます。

3 SETキーを押す

調整後、SETキーを押さずに約8秒間そのままにしておくと、確定し、元の表示に戻ります。

POINT

- "EX. BASS"または"LOUD"が点灯中に音質を調整すると、EX.BASSまたはLOUDNESSは解除されます。
- EX.BASS、LOUDNESSまたはTONE効果の音は、録音には反映されません。

外部入力レベルを調整する

AUX 端子に接続された外部機器（MDプレーヤー、レコードプレーヤー、カセットデッキなど）からの入力レベルを調整します。CD, MDなどと同じくらいの大きさで聞こえるように調整してください。

本体のみ

1 AUXキーを押して、外部入力を選ぶ

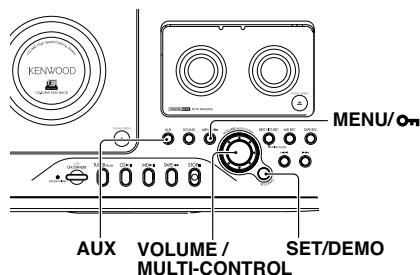
2 接続した機器を再生して、音量を確認する

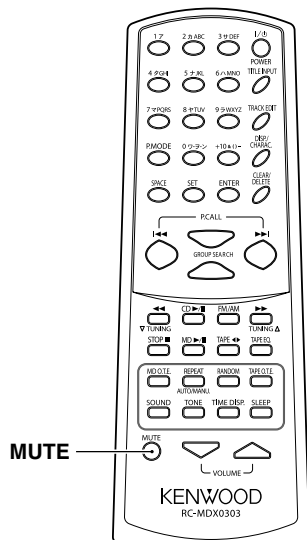
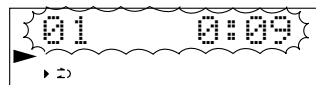
3 MENU/ キーを押す

4 VOLUME/MULTI-CONTROLつまみを回して"AUX INPUT?"を選び、SET/DEMOキー（リモコンはSETキー）を押す

AUX INPUT ?

5 VOLUME/MULTI-CONTROLつまみを回して入力レベルを微調整し、SET/DEMOキ（リモコンはSETキー）ーを押す

-5から+2の範囲で調整することができます。

一時的に音を消す（MUTE）

再生中の音を一時的に消すことができます。

リモコンのみ

MUTEキーを押す

MUTEオン（入）時は表示部が点滅します

MUTEを解除するには

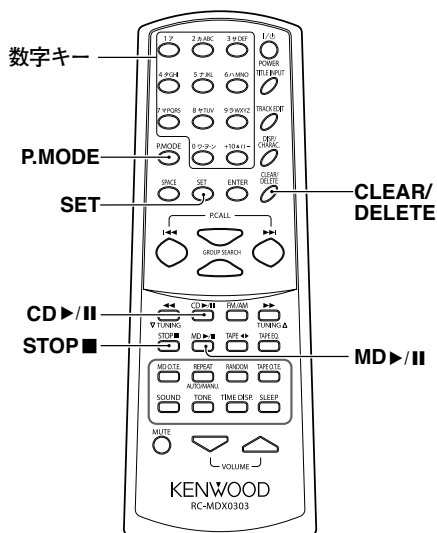
MUTEキーを押す。

表示部の点滅が止まります。

POINT

- MUTEオン中に音量を操作したときはMUTEが解除されます。

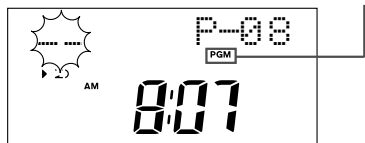
CDやMDの曲順を並べ替えて聴く(PGM)

好きな曲を好きな順番に、最大32曲までプログラムして聴くことができます。

リモコンのみ

1 CDのとき:CD ▶/II キーを押す MDのとき:MD ▶/II キーを押す

2 STOP■キーを押す

3 P.MODEキーを押してPGMを選択する

"PGM"が点灯

4 数字キーを押して、聴きたい曲を選ぶ

例　23曲目:+10、+10、3
　　40曲目:+10、+10、+10、+10、0

5 SETキーを押す

2曲以上選ぶときは、手順4, 5を繰り返します。
間違えたときは、CLEAR/DELETEキーを押して、曲番号を消し、選び直します。

6 CDのとき:CD ▶/II キーを押す MDのとき:MD ▶/II キーを押す

プログラム再生をやめるには

再生中にSTOP■キーを押します。

プログラムした曲を取り消すには

停止中にCLEAR/DELETEキーを押します。押すたびに最後の曲から1曲ずつ消えていきます。
一度に全部消すときは、P.MODEキーを押します。

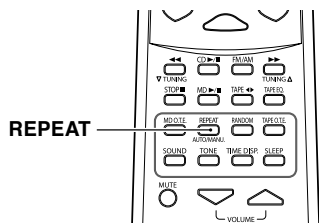
プログラム再生を解除するには

P.MODEキーを押して、"PGM"を消灯させます。

POINT

- "PGM FULL"と表示されると、それ以上曲を選ぶことはできません。

CDやMDを繰り返し聴く（REPEAT）

お気に入りの曲を繰り返し聴くことができます。プログラム再生やランダム再生のときでも繰り返し聴くことができます。

リモコンのみ

再生中にREPEATを繰り返し押して、"1"と"REPEAT"または"REPEAT"のみを点灯させる

"1"と"REPEAT"が点灯：1曲だけを繰り返します。

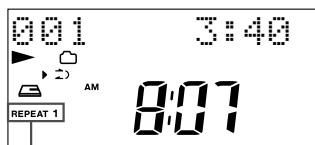
"REPEAT"のみ点灯：ディスクの全曲を繰り返します。

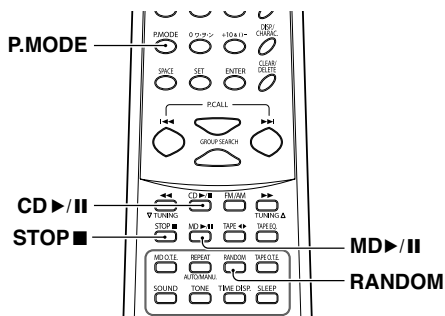
"1"と"REPEAT"を点灯させたとき

リピート再生を解除するには

STOP■キーを繰り返し押して、"1"および"REPEAT"を消灯させます。

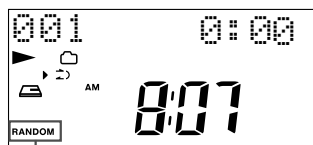
POINT

- プログラム再生時は"PGM"と"REPEAT"、ランダム再生時は"RANDOM"と"REPEAT"が点灯し、全曲を繰り返します。

CDやMDを順不同で聴く（RANDOM）

曲が順不同に再生されるので、飽きることなく楽しめます。

リモコンのみ

1 CDのとき：CD ▶/II キーを押す MDのとき：MD ▶/II キーを押す

"PGM"が点灯しているときは、STOP■キーを押して、再生を停止させてから、リモコンのP.MODEキーを押して消灯させてください。

2 RANDOMキーを押して、"RANDOM"を点灯させる

"RANDOM"が点灯

ランダム再生を解除するには

STOP■キーを押して、"RANDOM"を消灯させます。

- 全曲の再生が1回終わると停止します。

ステレオ長時間録音について

本機は、MDのステレオ長時間録音に対応しています。（MDLP対応機器です）
録音モードにはステレオ録音、モノラル長時間録音、ステレオ2倍長時間録音、ステレオ4倍長時間録音があり、本機のMDで録音できる全ての音楽ソースに使用できます。
また、同じMDに異なる録音モードの曲を混在させて録音することもできます。
録音をする前に録音モードの設定を行ってから、それぞれの録音操作をしてください。

録音モードの種類

ステレオ録音（STEREO）：録音可能時間はMDカートリッジに表示されている時間になります。

ステレオ2倍長時間録音（LP2）：音声はステレオのまま、録音可能時間がMDカートリッジに表示されている時間の約2倍になります。

ステレオ4倍長時間録音（LP4）：音声はステレオのまま、録音可能時間がMDカートリッジに表示されている時間の約4倍になります。

モノラル長時間録音（MONO）：録音される音声はモノラルになりますが、録音可能時間がMDカートリッジに表示されている時間の約2倍になります。

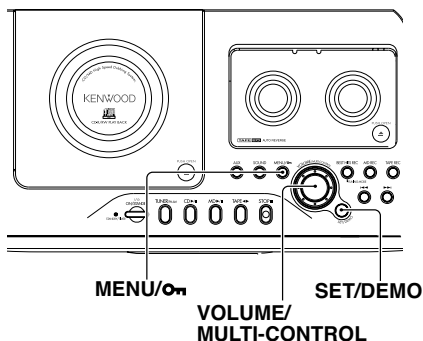
スタンプ（STAMP）機能

本機ではステレオ2倍長時間録音（LP2）またはステレオ4倍長時間録音（LP4）で録音されたことがわかるように曲のタイトルの始めの部分に「LP：」を自動的につける機能があります。
「LP：」は、MDLPに対応していない機器でステレオ長時間録音された曲を再生しているときだけ、タイトルとして表示されます。

POINT

- 本機のMDでステレオ2倍長時間録音（LP2）またはステレオ4倍長時間録音（LP4）で録音された曲は、MDLPに対応した機器で再生することができます。MDLPに対応していない機器で再生すると、無音状態で再生されます。スタンプ機能を使っているときは、曲タイトルの頭の部分に「LP：」が表示されます。
- MDにステレオ音声で録音する場合、長時間録音になるにしたがって録音される音質が変化します。最も良い音質で録音したいときは、ステレオ録音（STEREO）で録音してください。

録音モードの設定

録音モードは停止中のみ設定することができます。

MENU/⊶
SET/DEMO
VOLUME/
MULTI-CONTROL

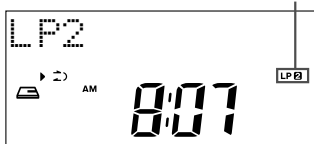
本体のみ

1 **MENU/⊶ キーを押す**

2 **VOLUME/MULTI-CONTROLつまみを回して、"MD REC MODE?"を選び、SET/DEMOキー（リモコンは　キー）を押す**

現在設定されている録音モードが表示されます。

3 **VOLUME/MULTI-CONTROLつまみを回して、録音したいモードを選ぶ**

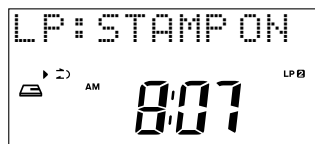
LP2を選んだとき　"LP2"が点灯

"STEREO"：ステレオ録音（消灯）
"LP2"：ステレオ2倍長時間録音（"LP2"が点灯）
"LP4"：ステレオ4倍長時間録音（"LP4"が点灯）
"MONO"：モノラル録音（"MONO"が点灯）

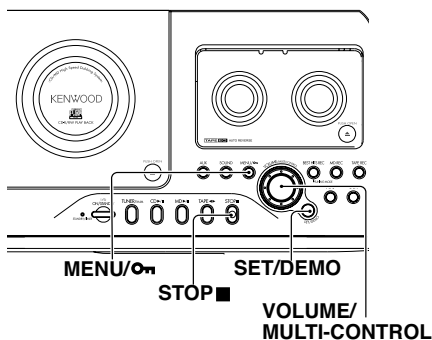
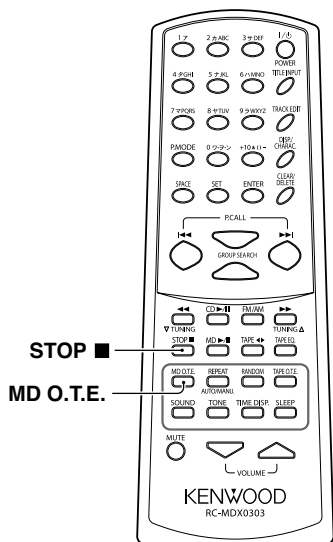
4 **SET/DEMOキー（リモコンはSETキー）を押す**

"STEREO"または"MONO"を選んだときは、設定終了です。
"LP2"または"LP4"を選んだときは、STAMP機能の設定画面が表示されます。手順5へ進みます。

5 **VOLUME/MULTI-CONTROLつまみを回して、"LP:STAMP ON"または"LP:STAMP OFF"を選び、SET/DEMOキー（リモコンはSETキー）を押す**

曲タイトルの頭の部分に「LP:」を自動で入れるときは、"ON"を選びます。
曲タイトルの頭の部分に「LP:」を入れないときは、"OFF"を選びます。

"LP:STAMP ON"を選んだとき

CDの全曲をMDに倍速で録音する

CDの全曲を通常の半分の時間で録音することができます。プログラムまたはランダムモードを設定している場合は解除してから操作してください。

1 録音の準備をする

「CDをMDに録音する」の手順**1**～**3**（28ページ）をご覧ください。

2 MENU/⊶ キーを押す

3 VOLUME/MULTI-CONTROLつまみを回して、"REC SPEED?"を選び、SET/DEMOキー（リモコンはSETキー）を押す

4 VOLUME/MULTI-CONTROLつまみを回して、"CD→MD HIGH"を選び、SET/DEMOキー（リモコンはSETキー）を押す

"HIGH SPEED"が点灯

通常の速度で録音するときは"CD→MD NORMAL"を選んでください。

5 VOLUME/MULTI-CONTROLつまみを回して、"MELODY ON" "MELODY OFF "を選び、SET/DEMOキー（リモコンはSETキー）を押す

MELODY ONを選択すると、録音終了時にお知らせのメロディが鳴ります。

6 リモコンのMD O.T.E.キーを押す

本体で操作するときは「CDをMDに録音する」の手順**4**（29ページ）をご覧ください。

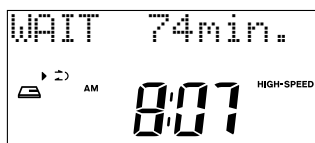
全ての曲を録音し終わると、CDとMDは自動的に停止します。

今聴いているCDの曲を倍速で録音する（1曲倍速録音）

（1）手順1〜4の操作をする。
（2）録音したいCDの曲を再生する。
（3）リモコンのMD O.T.E.(ワンタッチエディット)キーを押す。
本体で操作するときは「CDをMDに録音する」の手順4（29ページ）をご覧ください。
再生中の曲の最初に戻ってから、録音が始まります。

録音を途中でやめるには

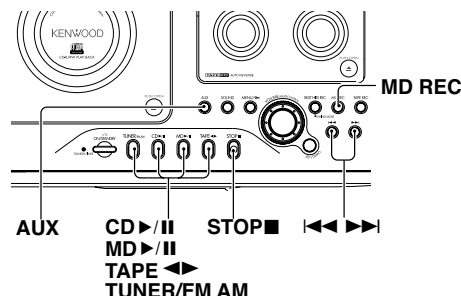
STOP(ストップ)■キーを押します。

- "MD WRITING(ライティング)"表示中は、電源を切ったり、振動や衝撃を加えないでください。
- いったん倍速録音"CD→MD HIGH(ハイ)"を始めてしまうと、録音を始めてから74分以内に同じCDを倍速録音することはできません。このようなディスクの場合、再録音できるまでの時間が表示されます。

再録音できるまでの時間

また74分以内に101曲以上を続けて倍速録音することもできません。

- 続けて同じCDを録音したいときは、"REC(レック) SPEED(スピード)"を"CD→MD NORMAL(ノーマル)"にしてからMD O.T.E.(ワンタッチエディット)録音をしてください。（28〜29ページ）

MDに録音する

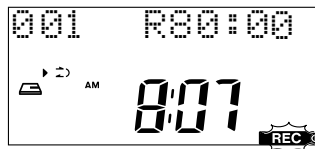
好みの音楽ソースをMDに録音することができます。

本体のみ

1 録音可能なMDを入れる

2 録音する音楽ソースを選ぶ

CD：CD ▶/IIキーを押す。
テープ：TAPE(テープ)◀▶キーを押す。
ラジオ：TUNER(チューナー)/FM AMキーを押す。
外部入力：AUXキーを押す。
すでにCDやテープが入っているときは、再生が始まりますので、STOP(ストップ)■キーを押して停止させます。

3 MD REC(レック)キーを押す

録音一時停止状態になります。

4 録音する音楽ソースの準備ができたら、もう一度MD REC(レック)キーを押す

5 録音する音楽ソースを再生する

次ページに続く→

MDに録音する（つづき）

録音をやめるには

STOP(ストップ)■キーを押します。

録音を一時停止するには

録音中にMD ▶/❚❚キーを押します。
この状態から再び録音を始めるときは、MD ▶/❚❚キーまたはMD REC(レック)キーを押します。

メッセージが表示されて録音できないときは

「メッセージ表示の一覧」（86〜87ページ）をご覧ください。

CDを録音するときのポイント

CDを録音するときは、MDを録音一時停止状態にしておくと、CDの再生とMDの録音を同時に始めることができます。（シンクロ録音機能）

(1) CDを再生一時停止状態にする。
(2) 録音したい曲を⏮キーまたは⏭キーで選ぶ。
選んだ曲の始めで、再生一時停止状態になります。
(3) MD REC(レック)キーを押して、録音一時停止状態にする。
(4) CD ▶/❚❚キーを押して、CDの再生を始める。

POINT

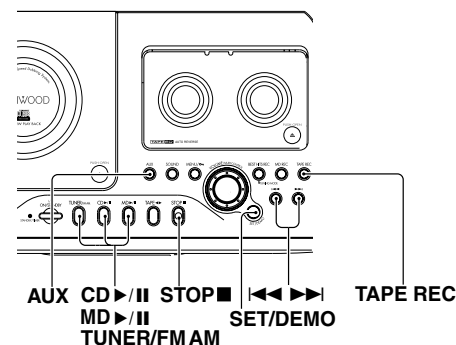
- "MD WRITING(ライティング)"表示中は、電源を切ったり、振動や衝撃を加えないでください。
- スタンバイ状態（91ページ）では、MDを出し入れすることはできません。無理にMDを入れると、故障の原因となります。
- CDをMDに通常の速度で録音するときは、デジタル録音かアナログ録音を選ぶことができます。
既にデジタルコピーされたCD-R/RWをMDに録音するときは、アナログ録音を選択してください。「CDをMDに録音する（MD O.T.E.(ワンタッチエディット)）」（28ページ）をご覧ください。
- ラジオやテープをMDに録音するときはアナログ録音になります。
- MD1枚につき最大255曲まで録音できます。
- 次の場合は録音できません。
1. ディスクが書き込み防止になっている場合。
2. ディスクがプリマスターディスクの場合。
- "MD WRITING(ライティング)"表示中は、CDの音は出ません。

録音時の曲番号について

曲番号は再生中に曲の頭出しをするときや、プログラムをするときに使用します。

- AUXからの音を録音するときは、下記のような場合に、曲番号が自動的につきます。
— 音のない部分が約3秒以上続いたあとに次の音が入るとき（ただし、録音する音楽ソースのノイズなどによりトラック番号がくり上がらない場合があります。）
— クラシック音楽などで小さい音が続いたとき
— 録音が一時停止中にもう一度MD ▶/❚❚キーまたはMD REC(レック)キーを押して録音を始めるとき
— 録音中にリモコンのTRACK(トラック) EDIT(エディット)キーを押したとき
- ラジオからの音を録音するときは下記のような場合に曲番号が自動的につきます。
— 録音開始から10分毎
— 録音が一時停止中にもう一度MD ▶/❚❚キーまたはMD REC(レック)キーを押して録音を始めるとき
— 録音中にリモコンのTRACK(トラック) EDIT(エディット)キーを押したとき
- CDをデジタル録音しているときは、下記のような場合に、曲番号が自動的につきます。
— 曲が切り換わるとき
— 録音が一時停止中にもう一度MD ▶/❚❚キーまたはMD REC(レック)キーを押して録音を始めるとき
— 録音中にリモコンのTRACK(トラック) EDIT(エディット)キーを押したとき

テープに録音する

CDやラジオなど、好みの音楽ソースをテープに録音できます。

本体のみ

1 録音の準備をする

「CDをテープに録音する」の手順1、3～5(30～31ページ)をご覧ください。

2 録音する音楽ソースを選ぶ

CD：CD ▶/IIキーを押す。
MD：MD ▶/IIキーを押す。
ラジオ：TUNER/FM AMキーを押す。
外部入力：AUXキーを押す。
すでにCDやMDが入っているときは、再生が始まりますので、STOP■キーを押して停止させます。

3 録音する音楽ソースの準備ができたら、TAPE RECキーを押す

CDを録音するときの表示例

TAPE録音表示

4 録音する音楽ソースを再生する

録音をやめるには

STOP■キーを押します。

録音を一時停止するには

録音中にTAPE RECキーを押します。4秒間の無録音部を作ってから、一時停止します。この状態から再び録音を始めるときは、もう一度TAPE RECキーを押します。

CDやMDをテープに録音するときのポイント

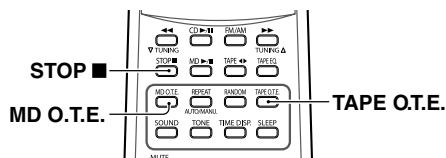
CDやMDを録音するときは、テープを録音一時停止状態にしておくと、音楽ソースの再生とテープの録音を同時に始めることができます。(シンクロ録音機能)

(1) CDまたはMDを再生一時停止状態にする。
(2) 録音したい曲を|◀◀キーまたは▶▶|キーで選ぶ。
選んだ曲の初めで、再生一時停止状態になります。
(3) TAPE RECキーを2回押す。4秒間の無録音部を作ってから、録音一時停止状態になります。
(4) CDまたはMDの再生を始める。

POINT

- 本機はノーマル(TYPE I)テープで録音が可能です。ハイ(TYPE II)、メタル(TYPE IV)テープでの録音はできません。

CDの曲順を並べ替えてMDやテープに録音する

通常速度"CD→MD NORMAL(ノーマル)"のときに、CDの曲順を並べ替えて録音できます。倍速録音"CD→MD HIGH(ハイ)"のときはできません。

リモコンのみ

1 録音の準備をする

MD：「CDをMDに録音する」の手順1～3（28ページ）をご覧ください。

テープ：「CDをテープに録音する」の手順1～5（30～31ページ）をご覧ください。

MD、テープは必ず停止状態にしてください。

2 CDの曲順をプログラムする

「CDやMDの曲順を並べ替えて聴く」の手順1～5（38ページ）をご覧ください。

3 録音を開始する

MDに録音するとき：MD O.T.E.(ワンタッチエディット)キーを押す。

テープに録音するとき：TAPE O.T.E.(ワンタッチエディット)キーを押す。

録音が終わると、テープは4秒間の無録音部を作ってから自動的に停止します。

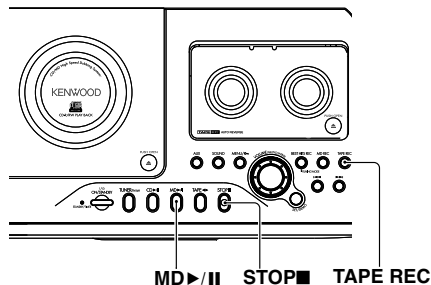
録音を途中でやめるには

STOP(ストップ)■キーを押します。

POINT

- "MD WRITING(ライティング)"表示中は、電源を切ったり、振動や衝撃を加えないでください。

MDの曲順を並べ替えてテープに録音する

MDの好きな曲だけを好きな順番で再生して、お気に入りの曲だけのテープを作ることができます。

本体のみ

1 録音の準備をする

「CDをテープに録音する」の手順1、3～5（30～31ページ）をご覧ください。

2 MDの曲順をプログラムする

「CDやMDの曲順を並べ替えて聴く」の手順1～5（38ページ）をご覧ください。

3 MD ▶/IIキーを続けて2回押し、MDを再生一時停止状態にする

4 TAPE(テープ) REC(レック)キーを続けて2回押し、テープを録音一時停止状態にする

テープは4秒間の無音部分を作ってから、自動的に録音一時停止状態になります。

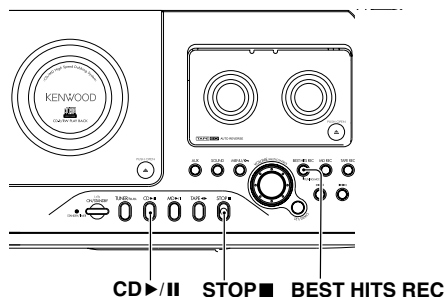
5 MD ▶/IIキーを押す

録音が終わると、テープは4秒間の無録音部を作ってから自動的に停止します。

録音を途中でやめるには

STOP(ストップ)■キーを押します。

CDの1曲目をMDに録音する（BEST(ベスト) HITS(ヒッツ)）

CDの1曲目を簡単に録音できます。シングルCDなどの1曲目をまとめてMDに録音するときに便利です。

本体のみ

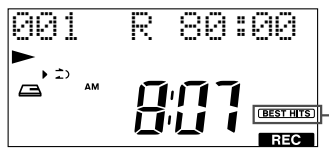
1 録音の準備をする

「CDをMDに録音する」の手順1～3（28ページ）をご覧ください。

2 CD ▶/IIキーを押す

3 STOP(ストップ)■キーを押す

"PGM(プログラム)"が点灯しているときは、リモコンのP.MODE(モード)キーを押して消灯させてください。

4 BEST(ベスト) HITS(ヒッツ) REC(レック)キーを押す

"BEST(ベスト) HITS(ヒッツ)"が点灯

CDの1曲目の録音が終わると、CDとMDは自動的に停止します。

5 CDを交換して、BEST(ベスト) HITS(ヒッツ) REC(レック)キーを押す

この手順を繰り返して、次々にCDの1曲目を録音していきます。

録音を途中でやめるには

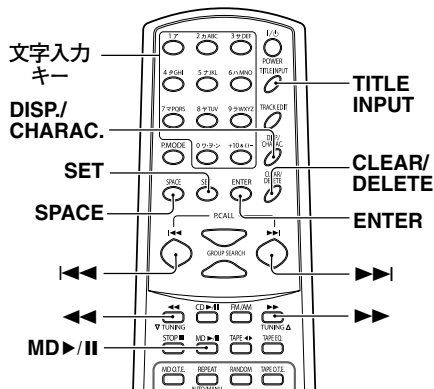
STOP(ストップ)■キーを押します。

POINT

- "MD WRITING(ライティング)"表示中は、電源を切ったり、振動や衝撃を加えないでください。

MDのタイトルを編集する

ディスクのタイトルや曲のタイトルをつける

ディスクのタイトルや曲のタイトルをつけておくと、再生のときに表示されます。プログラムモードを設定している場合は解除してから操作してください。

リモコンのみ

1 入力切換をMDにして、録音済みのMDを入れる

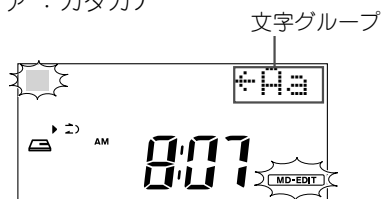
2 TITLE INPUT（タイトル インプット）キーを押す

3 ⏮キーまたは⏭キーを繰り返し押して、"DISC（ディスク）"またはタイトルをつけたい曲番号（"001"…）を選ぶ

4 SET（セット）キーを押す

5 DISP./CHARAC.（ディスプレイ キャラクター）キーを繰り返し押して、目的の文字グループを選ぶ

"Aa"：アルファベット
"12"：数字
"アァ"：カタカナ

文字グループ

6 文字入力キーを繰り返し押して、目的の文字を選ぶ

入力できる文字については、「タイトル編集文字一覧表」(50ページ）をご覧ください。
CLEAR/DELETE（クリアー デリート）キーを押すと、点滅中の文字を消去することができます。
SPACE（スペース）キーを押すと、1文字分のスペースを入力することができます。

7 SET（セット）キーを押して、選んだ文字を確定する

手順**5**～**7**を繰り返して、好みのタイトルを入力します。

8 タイトルを入力し終わったら、ENTER（エンター）キーを押す

入力したタイトルがスクロールして表示されます。
つづけて曲のタイトルをつけるときは、手順**3**～**8**を繰り返します。

9 TITLE INPUT（タイトル インプット）キーを押す

10 本体の▲キーを押して、MDを取り出す

"MD WRITING（ライティング）"表示します。

途中でやめるには

手順7までにTITLE INPUT（タイトル インプット）キーを押します。また、"MD WRITING（ライティング）"が表示される前であれば、編集を取り消すことができます。操作については、「編集を取り消す」(56ページ)をご覧ください。

タイトルを変更する

(1) 「ディスクのタイトルや曲のタイトルをつける」の手順1～4(48ページ)を行う。

(2) ◀◀キーまたは▶▶キーを繰り返し押して、変更したい文字を選ぶ。

(3) CLEAR/DELETE（クリアー/デリート）キーを押して変更したい文字を消す。

(4) 「ディスクのタイトルや曲のタイトルをつける」の手順5～10(48～49ページ)を行う。

タイトルを消去する

(1) 「ディスクのタイトルや曲のタイトルをつける」の手順1～4(48～49ページ)を行う。

(2) CLEAR/DELETE（クリアー/デリート）キーを押して、文字を消す。

「ディスクのタイトルや曲のタイトルをつける」の手順3(48～49ページ)で"ALL（オール） ERASE（イレース）"を選ぶと、すべてのタイトルを一度に消すことができます。

POINT

- "MD WRITING（ライティング）"表示中は、電源を切ったり、振動や衝撃を加えないでください。
- 変更したい文字が表示されないときは、◀◀キーまたは▶▶キーを押すと、カーソルが動き、隠れていた文字が表示されます。
- 曲を聴きながらタイトルを入力したいときは、「ディスクのタイトルや曲のタイトルをつける」の手順2(48～49ページ)の前にタイトルをつけたい曲を再生してください。
- 入力できる文字数は、全体で1792文字、1曲につき80文字("LP："も含む)まで入力することができます。

次ページに続く➔

タイトル編集文字一覧表

次のようなカタカナ文字やアルファベット小文字、並びに各種記号などを選ぶことができます。

リモコンの文字入力キーで文字を選ぶとき

キー ＼ グループ	“Aa”	“1 2”	“アァ”
1ア		1	ア イ ウ エ オ ァ ィ ゥ ェ ォ
2カABC	A B C a b c	2	カ キ ク ケ コ
3サDEF	D E F d e f	3	サ シ ス セ ソ
4 タGHI	G H I g h i	4	タ チ ツ テ ト ッ
5ナJKL	J K L j k l	5	ナ ニ ヌ ネ ノ
6ハMNO	M N O m n o	6	ハ ヒ フ ヘ ホ
7マPQRS	P Q R S p q r s	7	マ ミ ム メ モ
8ヤTUV	T U V t u v	8	ヤ ユ ヨ ャ ュ ョ
9ラWXYZ	W X Y Z w x y z	9	ラ リ ル レ ロ
0ワヲン		0	゛ ゜ ワ ヲ ン
+10記号	' , : ? ! ; . " _ ` $ & ( ) - / + * = < > # % @		

POINT

- 「゛」「゜」はカーソル手前の文字によって入力できないことがあります。
- リモコンのSPACE（スペース）キーを押すと、1文字分のスペースが入力されます。

曲を1曲ずつ移動する

移動させたい曲を選んで、目的の曲番号の位置へ移動(挿入)します。繰り返し行うことで、目的の曲順に並べ替えることができます。前後の曲の曲番号は、自動的に調節されます。

曲を1曲移動するイメージ

リモコンのみ

1 **入力切換をMDにして、録音済みのMDを入れる**

2 **◀◀キーまたは▶▶キーを繰り返し押して、移動したい曲番号を選ぶ**

曲が再生されます。

3 **TRACK EDITキーを押し、◀◀キーまたは▶▶キーを繰り返し押して、"▶MOVE?"を選び、SETキーを押す**

4 **◀◀キーまたは▶▶キーを繰り返し押して、選択した曲の移動先を選び、SETキーを押す**

6曲目のあとに移動するとき

5 **ENTERキーを押す**

6 **本体の⏏キーを押して、MDを取り出す**

"MD WRITING"表示します。

途中でやめるには

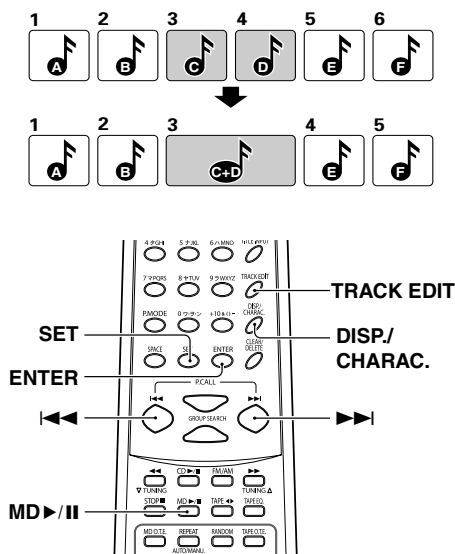
手順**4**までにTRACK EDITキーを押します。
また、"MD WRITING"が表示される前であれば、編集を取り消すことができます。
操作については、「編集を取り消す」(56ページ)をご覧ください。

POINT

- "MD WRITING"表示中は、電源を切ったり、振動や衝撃を加えないでください。

曲をつなぐ

曲と曲をつなぐことができます。曲番号は自動的に調節されます。

曲をつなぐイメージ

リモコンのみ

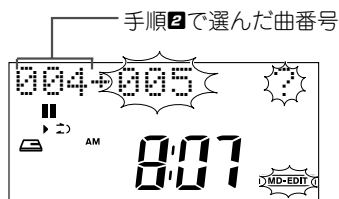
1 入力切換をMDにして、録音済みのMDを入れる

2 ⏮キーまたは⏭キーを繰り返し押して、つないだときに前になる曲を選ぶ

曲が再生されます。

3 TRACK EDITキーを押し、⏮キーまたは⏭キーを繰り返し押して、"►COMBINE?"を選び、SETキーを押す

4 ⏮キーまたは⏭キーを繰り返し押して、つなぎたい曲を選び、SETキーを押す

4曲目と5曲目をつなぐとき

5 ENTERキーを押す

6 本体の⏏キーを押して、MDを取り出す

"MD WRITING"表示します。

途中でやめるには

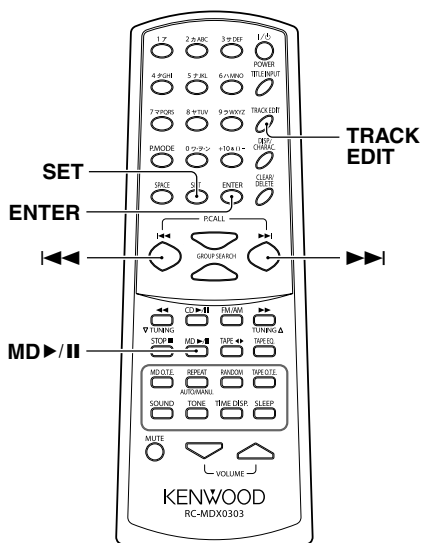
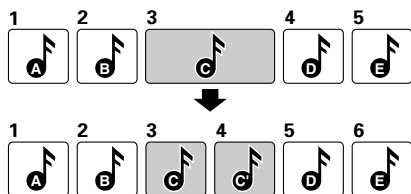
手順4までにTRACK EDITキーを押します。
また、"MD WRITING"が表示される前であれば、編集を取り消すことができます。
操作については、「編集を取り消す」(56ページ)をご覧ください。

POINT

- "MD WRITING"表示中は、電源を切ったり、振動や衝撃を加えないでください。
- 録音モード(40〜41ページ)が異なる曲をつなぐことはできません。また、MD規格の制限で、曲をつなぐことができない場合があります。
- 結合して新しくできた曲のはじめで一時停止になります。

曲を分ける

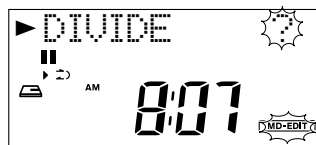
曲を分割することができます。曲番号は自動的に調節されます。

曲を分けるイメージ

リモコンのみ

1 入力切換をMDにして、録音済みのMDを入れる

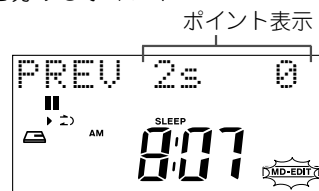
2 ⏮キーまたは⏭キーを繰り返し押して、分割したい曲番号を選ぶ

曲が再生されます。

3 分割したいポイントでTRACK EDITキーを押し、⏮キーまたは⏭キーを繰り返し押して、"▶DIVIDE?"を選び、SETキーを押す

4 もう一度SETキーを押す

5 ⏮キーまたは⏭キーを繰り返し押して、分けるポイントを調整し、SETキーを押す

約2秒間音が繰り返し再生されます。
繰り返される音を聴きながら調整します。
ポイントは−31〜＋31まで調整することができます。

曲を分けるポイント

分けるポイントを変えるときは、手順1からやり直します。

6 ENTERキーを押す

7 本体の⏏キーを押して、MDを取り出す

"MD WRITING"表示します。

次ページに続く➔

途中でやめるには

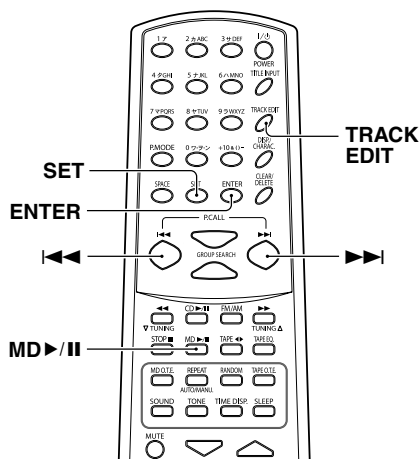
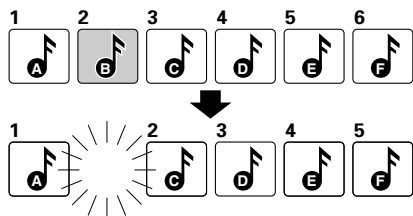
手順5までにTRACK EDITキーを押します。
また、"MD WRITING"が表示される前であれば、編集を取り消すことができます。
操作については、「編集を取り消す」(56ページ)をご覧ください。

POINT

- "MD WRITING"表示中は、電源を切ったり、振動や衝撃を加えないでください。
- 分割によってできた曲間には、無音部分がありません。
- MD規格の制限で、曲を分けられない場合があります。
- 分割して新しくできた曲のはじめで一時停止になります。

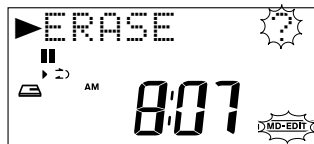
曲を消す

再生中の曲を消すことができます。曲番号は自動的に調節されます。

曲を消すイメージ

リモコンのみ

1 入力切換をMDにして、録音済みのMDを入れる

2 MDが停止中にTRACK EDITキーを押し、|◀◀キーまたは▶▶|キーを繰り返し押して"EDIT TRACK"を選び、SETキーを押す

3 |◀◀キーまたは▶▶|キーを繰り返し押して、"▶ERASE?"を選び、SETキーを押す

4 |◀◀キーまたは▶▶|キーを繰り返し押して、"ALL ERASE"または消したい曲を選び、SETキーを押す

"ALL ERASE"を選ぶと、MDの全ての曲が消える。

5 ENTERキーを押す

6 本体の▲キーを押して、MDを取り出す

"MD WRITING"表示します。

途中でやめるには

手順4までにTRACK EDITキーを押します。また、"MD WRITING"が表示される前であれば、編集を取り消すことができます。操作については、「編集を取り消す」(56ページ)をご覧ください。

POINT

- "MD WRITING"表示中は、電源を切ったり、振動や衝撃を加えないでください。

編集を取り消す

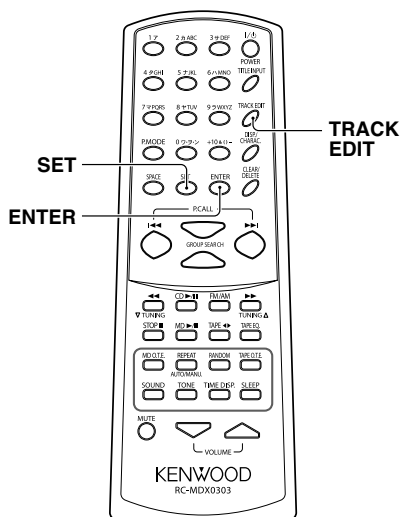
"MD WRITING"が表示される前であれば、編集を取り消すことができます。

リモコンのみ

1 **MDが停止中に、TRACK EDITキーを押し、|◀◀キーまたは▶▶|キーを繰り返し押して、"►CANCEL?"を選び、SETキーを押す**

2 **ENTERキーを押す**

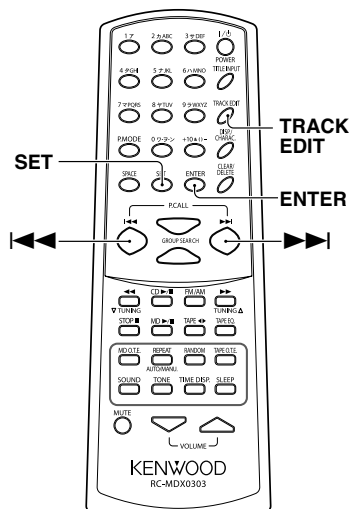
途中でやめるには

手順**1**までにTRACK EDITキーを押します。

MDのグループ機能について

ステレオ長時間録音モード（LP2またはLP4）を使って、複数のCDを1枚のMDに録音できるようになりました。しかし、1枚のMDに収録される曲数が多くなると曲の管理も大変になります。そこで、MDに収録されいる曲をグループに分けて管理します。各グループごとのタイトルをつけたり、選んだグループだけを再生したりと収録曲が多くても簡単に操作することができます。

グループ機能は、MD規格の推奨方法にもとづいています。本機でグループ登録したMDは、他のMDのグループ機能対応機器でも再生・編集ができますが、一部の機種ではグループ名などが正しく表示されなかったり編集できない場合があります。

グループ登録する

MDに収録されている曲をグループ登録します。連続している複数の曲がグループ登録できます。曲番号が離れているときは、あらかじめ曲を移動して連続した曲番号になるようにしておきます。1曲だけをグループ登録することもできます。

例：3曲目-12曲目をグループ登録するとき

リモコンのみ

1 入力切換をMDにして、録音済みのMDを入れる

2 MDが停止中にTRACK EDITキーを押し、|◀◀キーまたは▶▶|キーを繰り返し押して"EDIT GROUP"を選び、SETキーを押す

3 |◀◀キーまたは▶▶|キーを繰り返し押して、"►GRP START?"を選び、SETキーを押す

4 |◀◀キーまたは▶▶|キーを繰り返し押して、グループの先頭曲（FTNO.）を選び、SETキーを押す

5 |◀◀キーまたは▶▶|キーを繰り返し押して、グループの最終曲（LTNO.）を選び、SETキーを押す

6 ENTERキーを押す

7 本体の▲キーを押して、MDを取り出す

"MD WRITING"表示します。

途中でやめるには

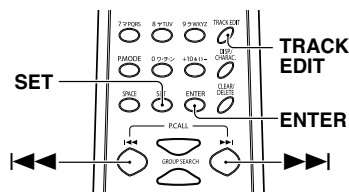
手順**5**までにTRACK EDITキーを押します。
また、"MD WRITING"が表示される前であれば、編集を取り消すことができます。操作については、「編集を取り消す」(56ページ)をご覧ください。

次ページに続く➔

POINT

- MD O.T.E.（ワンタッチエディット）キーを使ってCDを全曲録音したときは、録音したCDの全曲が自動でグループ登録されます。
- MD O.T.E.（ワンタッチエディット）.キーを使ってもグループ登録しないでCDを録音したいときは、「グループ録音の設定」（66ページ）をご覧ください。
- 1つの曲を複数のグループに登録することはできません。例えば、3-12曲目をグループAに12-18曲目をグループBにと、12曲目を二つのグループに登録できません。
- 連続していない曲をグループに登録することはできません。例えば1曲目と3-12曲目を一つのグループに登録できません。曲を移動して連続する曲番号にしてからグループ登録しなおしてください。
- 連続している曲でも、あいだにグループをはさんで登録することはできません。例えば、すでにグループAとして5-10曲目が登録されているときに、グループBとして3-12曲目を指定すると、グループ登録できません。グループAをグループ解除してから、もう一度グループ登録しなおしてください。

グループ範囲を変更する

グループ登録されている曲の範囲を変更します。

リモコンのみ

1 入力切換をMDにして、録音済みのMDを入れる

2 MDが停止中にTRACK EDIT（トラック エディット）キーを押し、|◀◀キーまたは▶▶|キーを繰り返し押して"EDIT GROUP（エディット グループ）"を選び、SET（セット）キーを押す

3 |◀◀キーまたは▶▶|キーを繰り返し押して、"▶GROUP EDIT?（グループ エディット）"を選び、SET（セット）キーを押す

4 |◀◀キーまたは▶▶|キーを繰り返し押して、範囲を変更するグループを選び、SET（セット）キーを押す

5 |◀◀キーまたは▶▶|キーを繰り返し押して、グループの先頭曲（FTNO.）を選び、SET（セット）キーを押す

6 |◀◀キーまたは▶▶|キーを繰り返し押して、グループの最終曲（LTNO.）を選び、SET（セット）キーを押す

7 ENTER（エンター）キーを押す

8 本体の▲キーを押して、MDを取り出す

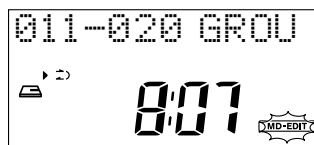
"MD WRITING（ライティング）"表示します。

途中でやめるには

手順**6**までにTRACK EDIT（トラック エディット）キーを押します。

また、"MD WRITING（ライティング）"が表示される前であれば、編集を取り消すことができます。操作については、「編集を取り消す」（56ページ）をご覧ください。

POINT

- 1つの曲を複数のグループに登録することはできません
- 連続している曲でも、あいだにグループをはさんで登録することはできません。

グループを解除する

MDの全てのグループまたは選んだグループを解除し、グループに所属しない曲にします。

リモコンのみ

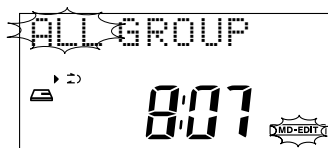
1 入力切換をMDにして、録音済みのMDを入れる

2 MDが停止中にTRACK EDIT（トラック エディット）キーを押し、|◀◀キーまたは▶▶|キーを繰り返し押して"EDIT GROUP（エディット グループ）"を選び、SET（セット）キーを押す

3 |◀◀キーまたは▶▶|キーを繰り返し押して、"▶GRP CANCEL?（グループ キャンセル）"を選び、SET（セット）キーを押す

次ページに続く→

4 **⏮キーまたは⏭キーを繰り返し押して、"ALL GROUP"または解除するグループを選び、SETキーを押す**

"ALL GROUP"を選ぶと、MDの全てのグループが解除されます。

5 **ENTERキーを押す**

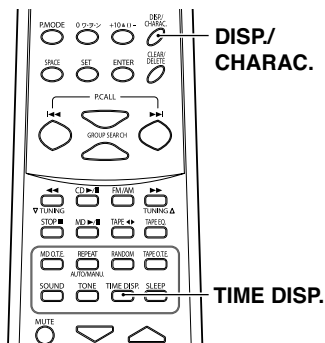
6 **本体の⏏キーを押して、MDを取り出す**

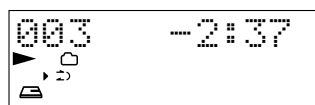
"MD WRITING"表示します。

途中でやめるには

手順**4**までにEDITキーを押します。

また、"MD WRITING"が表示される前であれば、編集を取り消すことができます。操作については、「編集を取り消す」(56ページ)をご覧ください。

グループ登録されているMDの表示を見る

再生時

グループ再生モードのときにリモコンの**TIME DISP.**キーを押すたびに、ディスプレイの表示が切り換わります。

1. 再生中の曲の経過時間

2. 再生中の曲の残り時間

003 -2:37

3. グループ内全曲の経過時間

003 T 23:45

4. グループ内全曲の残り時間

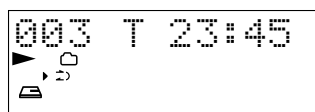
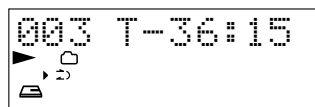
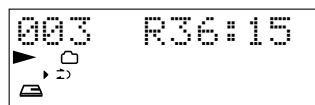
003 T-36:15

5. ディスクの録音可能時間

003 R36:15

POINT

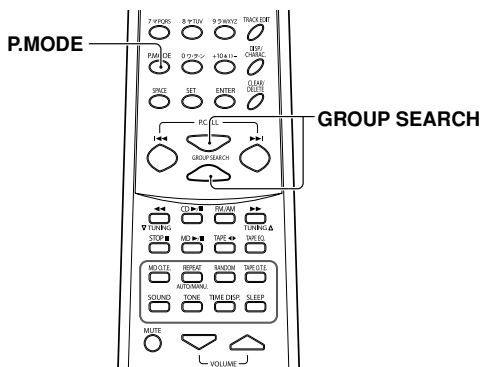
- 1曲リピート再生やランダム再生のときは、1と2のみ表示します。

グループのタイトルを見るには

グループタイトルが記憶されているときは、停止中にグループのタイトルを自動的に表示します。
タイトルが表示部に表示しきれないときは、リモコンのDISP.(ディスプレイ)/CHARAC.(キャラクター)キーを押します。表示がスクロールされ、表示されなかった部分を確認することができます。

POINT

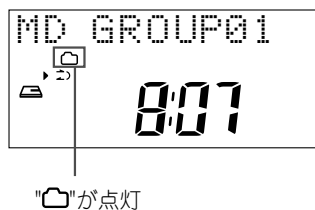
- グループのタイトルが登録されていないときは、"GROUP(グループ)＊＊"(＊＊は番号を示します)が表示されます。

聴きたいグループを選ぶ（グループサーチ機能）

聴きたいグループの先頭の曲に簡単に飛び越します。
再生中または停止中にリモコンを使って操作します。

リモコンのみ

1 入力切換をMDにして、グループ登録されているMDを入れる

2 P.MODE(モード)キーを押して、グループモードを選択する

"🗀"が点灯

3 GROUP(グループ) SEARCH(サーチ)(▽)キーまたは(△)キーを押して、聴きたいグループを選ぶ

次ページに続く➔

GROUP SEARCH(▽)キー：

次のグループを選ぶときに押します。再生中は、選んだグループの先頭の曲から再生が始まります。

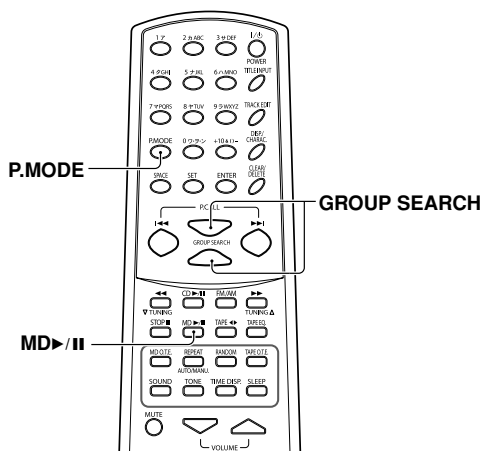
GROUP SEARCH△)キー：

前のグループを選ぶときに押します。再生中は、選んだグループの先頭の曲から再生が始まります。

POINT

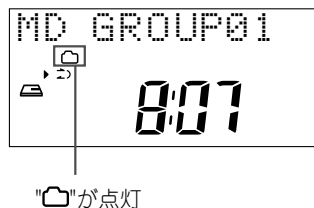
- 選んだグループの曲だけ聴きたいときは、「選んだグループだけ聴く（グループ再生）」（62ページ）の操作をしてから聴きたいグループを選びます。

選んだグループだけ聴く（グループ再生）

選んだグループだけ聴くことができる、グループ再生モードにします。

リモコンのみ

1 グループ登録されているMDを入れる

2 P.MODEキーを押して、グループモードを選択する

"⌂"が点灯

3 GROUP SEARCH(▽)キーまたは(△)キーを押して、聴きたいグループを選ぶ

4 MD ►/IIキーを押す

グループ再生を止めるには

再生中にSTOP(ストップ)■キーを押します。

グループ再生を解除するには

P.MODE(モード)キーを押して、" ⌂ " を消灯させます。

MDを取り出しても、グループ再生モードは解除されます。

POINT

- グループ再生中は、グループ登録されている曲だけ再生することができます。グループ登録されていない曲は再生できません。

選んだグループの曲を繰り返し聴く（REPEAT(リピート)）

選んだグループ内の全曲または1曲を繰り返し聴きます。ランダム再生のときも繰り返し聴くことができます。が切り換わります。

リモコンのみ

グループ再生中にREPEAT(リピート)キーを繰り返し押して、"1"と"REPEAT(リピート)"または"REPEAT(リピート)"のみを点灯させる

"1"と"REPEAT(リピート)"が点灯：1曲だけを繰り返します。

"REPEAT(リピート)"のみ点灯：グループ内の全曲を繰り返します。

"1"と"REPEAT(リピート)"を点灯させたとき

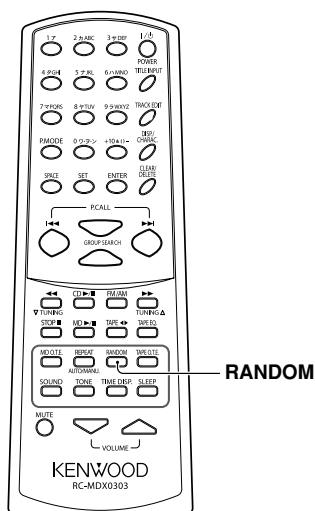
リピート再生を解除するには

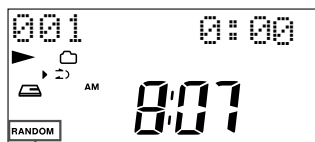
REPEAT(リピート)キーを繰り返し押して、"1"および"REPEAT(リピート)"を消灯させます。

POINT

- ランダム再生時は"RANDOM(ランダム)"と" "REPEAT(リピート)"が点灯し、グループ内の全曲を繰り返します。

選んだグループの曲を順不同で聴く（RANDOM）

グループ内の曲を順不同で再生します。

リモコンのみ

グループ再生中にRANDOMキーを押して、"RANDOM"を点灯させる

"RANDOM"が点灯

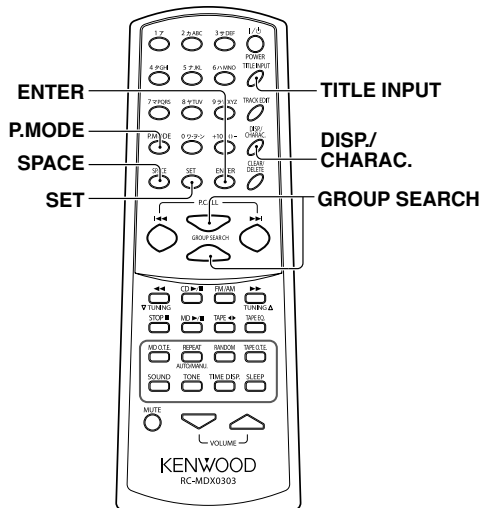
ランダム再生を解除するには

STOP■キーを押して、"RANDOM"を消灯させます。

POINT

- グループ内の全曲の再生が1回終わると停止します。

グループのタイトルや曲のタイトルを編集する

グループにタイトルをつけます。

リモコンのみ

1 入力切換をMDにして、グループ登録されているMDを入れる

MDは停止状態にしておきます。

2 P.MODEキーを押して、グループモードを選択する

"🗀"が点灯

3 GROUP SEARCH(▽)キーまたは(△)キーを押して、タイトルをつけるグループを選ぶ

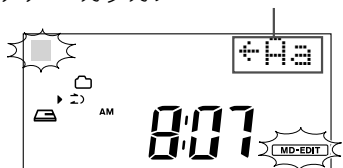
4 TITLE INPUTキーを押す

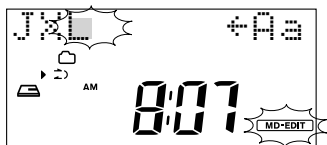
5 |◀◀キーまたは▶▶|キーを繰り返し押して、"GROUP"またはタイトルをつけたい曲番号（"001"…）を選ぶ

6 SETキーを押す

7 DISP./CHARAC.キーを繰り返し押して、目的の文字グループを選ぶ

"Aa"：アルファベット
"12"：数字
"アア"：カタカナ

文字グループ

8 文字入力キーを繰り返し押して、目的の文字を選ぶ

入力できる文字については、「タイトル編集文字一覧表」（50ページ）をご覧ください。
CLEAR/DELETEキーを押すと、点滅中の文字を消去することができます。
SPACEキーを押すと、1文字分のスペースを入力することができます。

9 SETキーを押して、選んだ文字を確定する

手順7-9を繰り返して、お好みのタイトルを入力します。

10 タイトルを入力し終わったら、ENTERキーを押す

入力したタイトルがスクロールして表意されます。

11 TITLE INPUTキーを押す

12 本体の▲キーを押して、MDを取り出す

"MD WRITING"表示します。

途中でやめるには

手順9までにTITLE INPUTキーを押します。

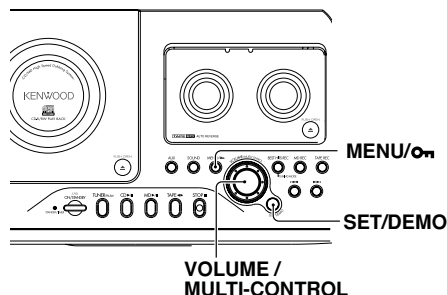
また、"MD WRITING"が表示される前であれば、編集を取り消すことができます。

操作については、「編集を取り消す」（56ページ）をご覧ください。

POINT

- グループ再生中は、曲タイトルだけつけることができます。
- "MD WRITING"表示中は、電源を切ったり、振動や衝撃を加えないでください。
- 変更したい文字が表示されないときは、|◀◀キーまたは▶▶|キーを押すと、カーソルが動き、隠れていた文字が表示されます。
- 入力できる文字数は、全体で1792文字、1タイトルにつき80文字まで入力することができます。
- ディスクタイトル、グループタイトルには"／"を連続して入力しないでください。グループ登録が正しく認識できなくなる場合があります。

グループ録音の設定

MD O.T.E.キーを使ってCDの全曲を録音するとき、お買い上げ時の状態は自動でグループに登録する設定になっています。グループに登録しないでCDを録音する設定にすることもできます。

本体のみ

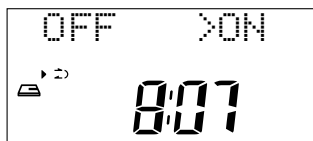
1 録音の準備をする

「CDをMDに録音する」の手順1～3（28ページ）をご覧ください。

2 MENU/ キーを押す

3 VOLUME/MULTI-CONTROLを回して、"GROUP MAKE?"を選びSETキーを押す

GROUP MAKE?
8:07

4 VOLUME/MULTI-CONTROLを回して、"ON"または"OFF"を選びを選ぶ

"ON"：　MD O.T.E.キーを使ってCDを録音したとき、自動でグループに登録する設定です。

"OFF"：　MD O.T.E.キーを使ってCDを録音したとき、グループに登録しない設定です。

5 SET/DEMOキー（リモコンはSETキー）キーを押す

POINT

- すでにグループ数が99あるときは、上記の設定に関係なく、録音したCDの曲はグループに登録されません。

グループ登録したMDの曲を編集すると

グループに登録されている曲を編集すると、次のようになります。

曲を移動する

グループ登録されている曲を移動すると、移動先のグループに登録されます。

移動先がグループに所属していないときは、移動した曲もグループに所属しない曲になります。

例：グループAとして3-5曲目が登録されていて、グループBとして9-12曲目が登録されているとき、グループAの4曲目を11曲目に移動するとグループBの曲になります。また、グループAの4曲目を7曲目に移動するとグループに所属しない曲になります。

曲をつなげる

グループに登録されている曲をつなげると、つなげるときに前にある曲のグループに所属します。

例：グループAとして3-5曲目が登録されていて、グループBとして6-12曲目が登録されているとき、グループAの5曲目とグループBの6曲目をつなげると、つなげられた曲はグループAに登録されます。また、グループAの3曲目を2曲目とつなげると、つなげられた曲はグループに属さない曲になります。

曲を分ける

グループに登録されている曲を分けると、分けた曲も分ける前のグループに登録されます。
例：グループAとして3-5曲目が登録されているとき、5曲目を分けると分けてできた6曲目もグループAに登録されます。

曲を消す

グループに登録されている曲を消した場合、グループ内の全曲を消すと、そのグループも消去されます。

例：グループAとして3-5曲目が登録されていて、グループBとして6-12曲目が登録されているとき、グループAの3-5曲目を消すとグループAが消去され、このときグループBにつけられたタイトルは変わりませんがタイトルが登録されていない場合、表示される番号は自動的(-1)に調整されます。

POINT

- グループ機能の情報は、ディスクのタイトル情報として記録されています。グループ機能に対応していない機器で、グループ登録されているMDのディスクタイトルを表示させると、通常のディスクタイトル以外の情報も表示されますが故障ではありません。
- グループ機能に対応していない機器で、グループ登録されているMDの編集操作はしないでください。

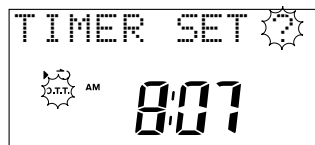
目覚ましタイマーを使う

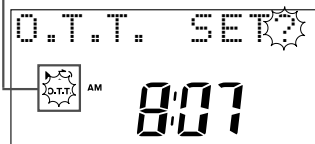
（O.T.T.）

開始時刻を合わせるだけの操作で、タイマー再生ができます。タイマー再生、受信開始から1時間たつと、電源は自動的に切れます。目覚ましタイマーは設定したあとの1回だけ働きます。

■ 設定する

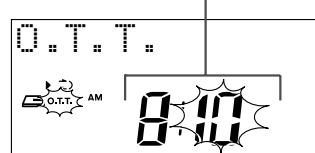
1 MENU/🔑 キーを押す

2 VOLUME/MULTI-CONTROLつまみを回して、"TIMER SET?"を選び、SET/DEMOキー（リモコンはSETキー）を押す

3 VOLUME/MULTI-CONTROLつまみを回して、"O.T.T. SET?"を選び、SET/DEMOキー（リモコンはSETキー）を押す

"O.T.T."が点滅

4 VOLUME/MULTI-CONTROLつまみを回して、"O.T.T. ON?"を選び、SET/DEMOキー（リモコンはSETキー）を押す

5 VOLUME/MULTI-CONTROLつまみを回して、タイマーが入る時刻（オン時刻）を選ぶ

オン時刻は5分単位で設定することができます。

オン時刻の表示

6 SET/DEMOキー（リモコンはSETキー）を押す

■ 実行する

7 入力切換を聴きたい音楽ソースに合わせ、必要な準備をする

CD：CDを入れる。
MD：MDを入れる。
テープ：テープを入れる。
ラジオ：聴きたい放送局を受信する。
外部入力：外部入力機器を接続して、必要な準備をする。

8 VOLUME/MULTI-CONTROLつまみを回して、音量を調節する

調節した音量で再生されます。

9 I/⏻ ON/STANDBYキー（リモコンはPOWER I/⏻キー）を押して、電源を切り、スタンバイ状態にする

STANDBY/TIMERインジケーターが緑色に点灯します。
目覚ましタイマーが実行され、設定した時刻に再生を開始します。

目覚ましタイマーを解除するには

手順1～4を行いVOLUME/MULTI-CONTROLつまみを回して、"O.T.T. OFF?"を選び、SET/DEMOキー（リモコンはSETキー）を押す。

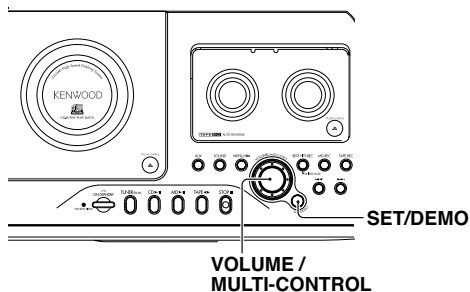
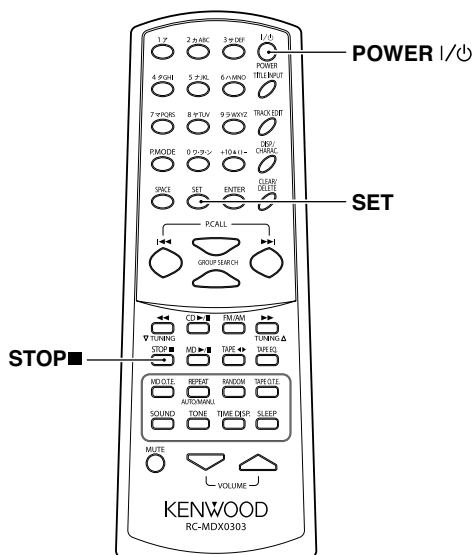
設定内容を確認したり、変更するには

手順1からやり直します。

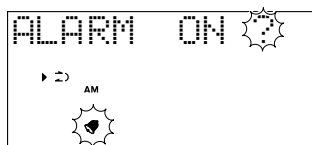
POINT

- タイマー機能を使う前に、時刻合わせを行ってください。（13ページ）
- STANDBY/TIMERインジケーターが緑色に点滅しているときは、タイマーの設定エラー、または時刻合わせがされていません。設定し直してください。（13、68ページ）
- 目覚ましタイマーでは、CDやMDのプログラム再生をすることはできません。

アラームを設定する

アラームを設定して指定した時刻にアラームが鳴ります。30分たつとアラームは自動的にOFFの状態になります。

1 「目覚ましタイマーを使う」の手順**1**,**2**（68ページ）を行う

2 VOLUME/MULTI-CONTROLつまみを回して、"ALARM SET?"を選び、SET/DEMOキー（リモコンはSETキー）を押す

3 VOLUME/MULTI-CONTROLつまみを回して、"ALARM ON?"を選び、SET/DEMOキー（リモコンはSETキー）を押す"ALARM OFF?"を選ぶとアラームが解除されます。

4 VOLUME/MULTI-CONTROLつまみを回して、「時」を選び、SET/DEMOキー（リモコンはSETキー）を押す

5 **VOLUME/MULTI-CONTROLつまみを回して、「分」を選び、SET/DEMOキー（リモコンはSETキー）を押す**

6 **I/⏻ ON/STANDBYキー（リモコンはPOWER I/⏻キー）を押して、電源を切り、スタンバイ状態にする**

STANDBY/TIMERインジケーターが緑色に点灯します。
設定した時刻にアラームが鳴ります。

アラームを解除するには

本体の STOP■キーを 2 秒間押す

POINT

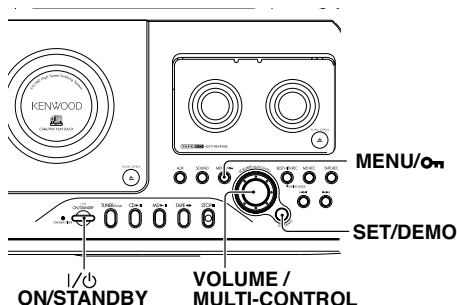
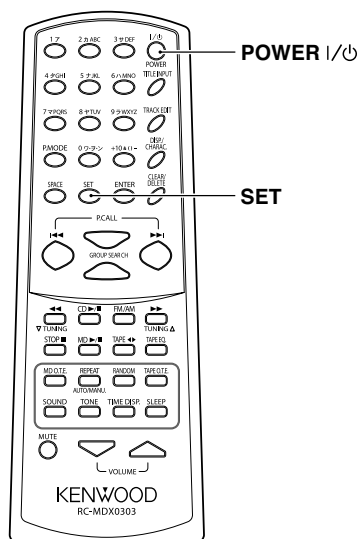
- アラームにはスヌーズ機能がついています。アラームが鳴り始めたとき、本体のキーを押すかまたは、本体のどの部分をかるくたたいても 一時的に5分間アラームが止まります。
- アラームが作動中は、本体やリモコンのキーが使えなくなります。再び使えるようにするには、アラームを解除してください。

プログラムタイマーを使う

(PROG. 1、PROG. 2)

プログラムタイマーには、働く時間帯と内容を予約しておき、必要に応じてオンまたはオフに切り換えることができます。プログラムタイマーは毎日働きます。

プログラムタイマーで再生する

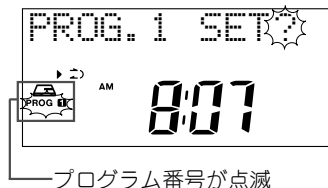
設定した時刻に選んだ音楽ソースを聴くことができます。

■ 設定する

1 聴きたい音楽ソースに合わせて、必要な準備をする

CD：CDを入れる。
MD：MDを入れる。
テープ：テープを入れる。
ラジオ：オートプリセットしておく。（14ページ）
外部入力：外部入力機器を接続して、必要な準備をする。
また、AUX端子に接続した外部入力機器のタイマーを設定してください。

2 MENU/⊶ キーを押す

3 VOLUME/MULTI-CONTROLつまみを回して、"TIMER SET?"を選び、SET/DEMOキー（リモコンはSETキー）を押す

4 VOLUME/MULTI-CONTROLつまみを回して、"PROG.1 SET?"または "PROG.2 SET?" を選び、SET/DEMO キー（リモコンはSETキー）を押す

プログラム番号が点滅

5 VOLUME/MULTI-CONTROLつまみを回して、"PROG.1 ON?"または "PROG.2 ON?" を選び、SET/DEMO キー（リモコンはSETキー）を押す

6 **タイマーが入る時刻(オン時刻)を選ぶ**

VOLUME/MULTI-CONTROLつまみを回して、音楽ソースを選び、SET/DEMOキー(リモコンはSETキー)を押す。

タイマーが入る時刻

同様の操作で「分」を選びます。

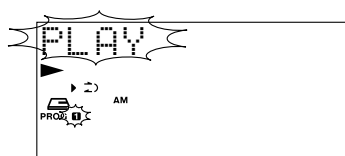
7 **タイマーが切れる時刻(オフ時刻)を選ぶ**

オン時刻と同様に設定します。

8 **VOLUME/MULTI-CONTROLつまみを回して、"PLAY"または"AI PLAY"を選び、SET/DEMOキー(リモコンはSETキー)を押す**

"PLAY":スタンバイ状態にする前に調整した音量で再生されます。

"AI PLAY":タイマーの再生が始まると、除々に音量が大きくなり、一定の音量まで上がります。

"PLAY"を選んだとき

9 **VOLUME/MULTI-CONTROLつまみを回して、音楽ソースを選び、SET/DEMOキー(リモコンはSETキー)を押す**

"CD"、"MD"、"TAPE"(テープ)、"TUNER"(ラジオ)、"AUX"(外部入力)の中から選ぶことができます。

10 **ラジオを聴くときは、VOLUME/MULTI-CONTROLつまみを回して、聴きたいプリセットナンバーを選び、SET/DEMOキー(リモコンはSETキー)を押す**

"TUNER"(ラジオ)以外を選んだときは、この操作は必要ありません。

■ 実行する

11 **I/⏻ ON/STANDBYキー(リモコンはPOWER I/⏻キー)を押して、電源を切り、スタンバイ状態にする**

STANDBY/TIMERインジケーターが緑色に点灯します。

プログラムタイマーが実行され、設定した時刻に再生を開始します。

次ページに続く→

プログラムタイマーを解除するには

「プログラムタイマーで再生する」の手順**2**〜**5**(72ページ)を行い"PROG.1 OFF" "PROG.2 OFF"、を選択します。

設定内容を確認したり変更するには

手順**1**からやり直します。

POINT

- タイマー機能を使う前に、時刻合わせを行ってください。(13ページ)
- タイマー再生では、CDやMDのプログラム再生をすることはできません。
- PROG.1とPROG.2の働く時間帯が重ならないように、1分以上の間隔をあけて設定してください。
- タイマーを解除しても、設定した内容は記憶しています。新しく設定しない限り、以前設定したプログラムタイマーの内容はそのまま残っています。
- STANDBY/TIMERインジケーターが緑色に点滅しているときは、タイマーの設定エラー、または時刻合わせがされていません。設定し直してください。(13、72〜74ページ)

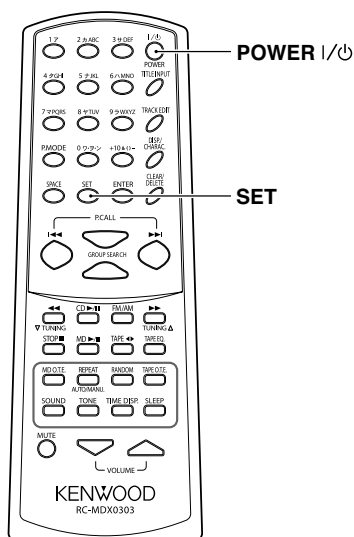
プログラムタイマーで録音する

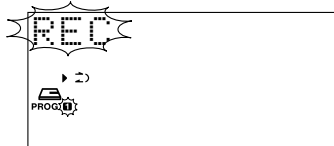
設定した時刻にTUNER（ラジオ）またはAUX（外部入力）の音をMDまたはテープに録音することができます。

■ 設定する

1 録音の準備をする

MD：「CDをMDに録音する」の手順**1**、**3**（28ページ）をご覧ください。

テープ：「CDをテープに録音する」手順**1**、**3**～**5**（30～31ページ）をご覧ください。

2 「プログラムタイマーで再生する」の手順**2**～**7**（72～73ページ）を行う

3 VOLUME/MULTI-CONTROLつまみを回して、"REC"を選び、SET/DEMOキー（リモコンはSETキー）を押す

4 VOLUME/MULTI-CONTROLつまみを回して、"TUNER"または"AUX"を選び、SET/DEMOキー（リモコンはSETキー）を押す

"TUNER"：ラジオ
"AUX"：外部入力

5 ラジオを録音するときは、VOLUME/MULTI-CONTROLつまみを回して、録音したいプリセットナンバーを選び、SET/DEMOキー（リモコンはSETキー）を押す

"AUX"を選んだときは、この操作は必要ありません。

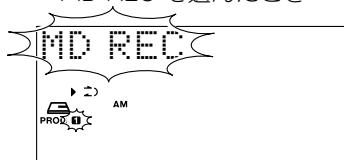
次ページに続く➔

6 VOLUME/MULTI-CONTROLつまみを回して、"MD REC"または"TAPE REC"を選び、SET/DEMOキー(リモコンはSETキー)を押す

"MD REC":MDに録音します。
"TAPE REC":テープに録音します。

"MD REC"を選んだとき

MD REC

AM

PROG 1

7 I/⏻ ON/STANDBYキー(リモコンはPOWER I/⏻キー)を押して、電源を切り、スタンバイ状態にする

STANDBY/TIMERインジケーターが緑色に点灯します。
プログラムタイマーが実行され、設定した時刻に録音を開始します。

プログラムタイマーを解除するには

「プログラムタイマーで再生する」の手順2～5(72ページ)を行い"PROG.1 OFF"、"PROG.2 OFF"、を選択させます。

設定内容を確認したり変更するには

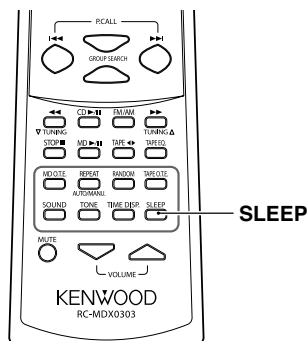
手順1からやり直します。

POINT

- タイマー機能を使う前に、時刻合わせを行ってください。(13ページ)
- PROG.1とPROG.2の働く時間帯が重ならないように、1分以上の間隔をあけて設定してください。
- タイマー録音のときは、スピーカーから音は出ません。
- 設定した内容は、手順6を除きタイマーを解除しても記憶しています。
  新しく設定しない限り、以前設定したプログラムタイマーの内容がそのまま残っています。
- STANDBY/TIMERインジケーターが緑色に点滅しているときは、タイマーの設定エラー、または時刻合わせがされていません。設定し直してください。(13、75ページ)

おやすみタイマーを使う

(SLEEP)

設定したタイマー時間が過ぎると、自動的に電源が切れます。10分単位で最長90分まで設定できます。

リモコンのみ

SLEEPキーを繰り返し押して、何分後に電源を切るかを選ぶ

一回押すごとに10分ずつ増えていきます。

10→20 … 80→90→消灯→10 …

"SLEEP"が点灯　タイマー時間

残り時間を確認する

おやすみタイマー実行中にSLEEPキーを押します。

おやすみタイマーを解除する

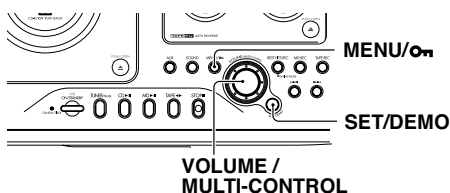
SLEEPキーを繰り返し押して、"SLEEP"を消灯させます。

自動的に電源を切る

(A.P.S. = AUTO POWER SAVE)

CDやMD、TAPEなどのすべてが停止状態のときや、入力切換が"TUNER"または"AUX"に設定されていて音量が"0"のときに、30分以上放置すると自動的に電源を切れるように設定することができます。電源の切り忘れを防止するために便利です。

本体のみ

1 **MENU/ キーを押す**

2 **VOLUME/MULTI-CONTROLつまみを回して、"A.P.S. SET?"を選び、SET/DEMOキー（リモコンはSETキー）を押す**

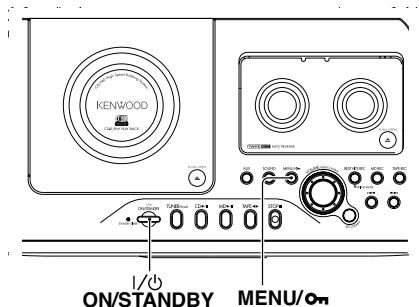
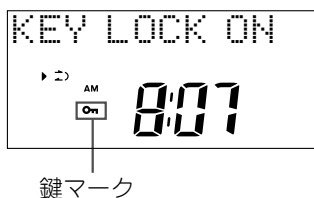
"A.P.S."が点滅

3 **VOLUME/MULTI-CONTROLつまみを回して、"ON"（入）または"OFF"（解除）を選び、SET/DEMOキー（リモコンはSETキー）を押す**

"ON"（入）を選んだとき

"A.P.S."が点灯

キーをロックする

誤って操作キーが押されても、現在の状態が変わらないようにすることができます。

本体のみ

MENU/⊶ キーを2秒以上押す

キーロックを解除するには

鍵マークが消えるまで2秒以上MENU/⊶キーを押すとキーロックが解除され、"KEY LOCK OFF"が表示されます。I/⏻ ON/STANDBY キー（リモコンはPOWER I/⏻キー）を2秒以上押すとキーロックが解除され、スタンバイ状態になります。

知っておきましょう

結露にご注意

本機と外気の温度差が大きいと、本機に水滴(露)が付くことがあります。この現象がおきますと、本機が正常に動作しないことがあります。このようなときには、数時間放置し、乾燥させてからご使用ください。気温差の大きいところへ持ち込んだときや、湿気の多い部屋などでは、特に結露にご注意ください。

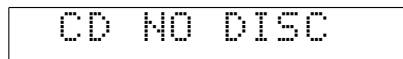
移動時の注意点

本機を輸送するときや、移動するときは、下記の操作を行ってください。

(1) CD、MDを取り出します。
(2) MD▶/❚❚キーを押す。
(3) しばらく待って、ディスプレイ部が図の表示になったことを確かめてください。

```
MD NO DISC
```

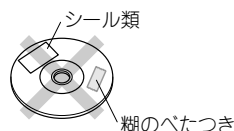
(4) CD▶/❚❚キーを押す。
(5) しばらく待って、表示部が図の表示になったことを確かめてください。

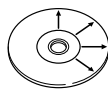
```
CD NO DISC
```

(6) 数秒間待って、電源を切ります。

ディスクの取り扱いかた

ディスク取扱上のご注意

再生面にふれないように持ってください。

再生面はもちろん、レーベル面にも紙やテープなどを貼らないでください。

お手入れ

ディスクに指紋や汚れがついたときは、やわらかい布などで、放射状に軽くふきとってください。

保存

長い間使用しないときは、本機から取り出し、ケースに入れて保管してください。

本機で使用できるディスクについて

CD(12cm、8cm)、CDRとCD-RW、CDVとCDG(CDグラフィックス)、CD-EXTRA(エクストラ)の音声部分が再生できます。

ディスクレーベル面に COMPACT disc DIGITAL AUDIO のマークが入ったものなどIEC規格に合格したものをご使用ください。

異常なディスクは使用しない

再生中、ディスクはプレーヤー内で高速回転しています。ひびや欠けのあるディスク、大きくそったディスク等は絶対に使用しないでください。プレーヤーの破損、故障の原因になります。

円形以外の形をしたディスクは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

ディスクアクセサリーについて

音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリー(スタビライザー、保護シート、保護リングなど)およびレンズクリーナーは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

レンタルディスク、中古ディスクの取り扱いについて

図の様にクランピングエリアにシールが貼られているディスクはご使用にならないでください。

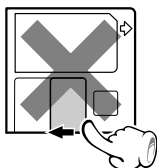
クランピング
エリア

シールから糊がはみ出したり金属板が貼られている場合があり、ディスクが取り出せなくなる恐れがあります。
シール類をはがしたあと、糊がレーベル面に残っていると、故障の原因になります。糊のベタつきがある場合、必ずふき取ってからご使用ください。

MDの取り扱いかた

MDのディスクはカートリッジに入っているため、ゴミや指紋を気にしないで、手軽に扱うことができます。ただし、カートリッジの汚れやそりなどは、誤動作の原因になります。いつまでも美しい音を楽しむため、次のことにご注意ください。

ディスクに直接触れない

シャッターを手で開けて、ディスクに直接触れないでください。無理に開けるとこわれます。

置き場所について

極端に温度の高いところ（直射日光の当たるようなところ）や、湿度の高いところには置かないでください。

ほこり対策について

本機の中では、MDのシャッターは常に開いています。従ってMDにほこりが入るのを防ぐため、録音、再生が終わりましたら、速やかにMDを本機から取り出してください。

お手入れのしかた

定期的に、カートリッジについたほこりやゴミを乾いた布でふき取ってください。

ディスクアクセサリーについて

レンズクリーナーは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

誤消去防止つまみ

録音した内容を誤って消さないためには、MDの誤消去防止つまみ（WRITE PROTECT）を開いた状態にしておきます。再び録音する場合は、つまみを元の状態に戻します。

ミニディスク裏面

カートリッジラベルについて

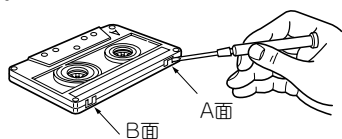
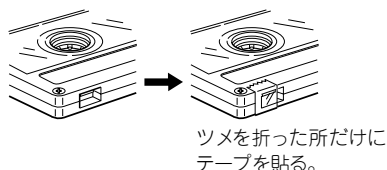
ラベルははがれないように端のほうまでしっかりと貼り付けてください。またラベルエリアよりはみだしてラベルを貼らないでください。

MD-Clipデータについて

MD-Clipデータ（静止画等）を書き込んだディスクは、本機で録音・編集を行わないでください。Clipのデータ内容が失われることがあります。

テープの取り扱いかた

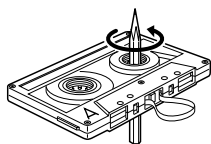
誤消去防止装置

大切な録音のあとには、カセットのツメを折ってください。誤消去・誤録音が防げます。

再び録音するには

テープの保管について

直射日光や暖房器などのそばに放置しないでください。

また、磁石や磁気は近づけないでください。

テープがたるんでいる場合

このような場合には、リール軸に鉛筆などを差し込んで、テープのたるみをとってから装着してください。

POINT

- エンドレステープは故障の原因となりますので、ご使用にならないでください。

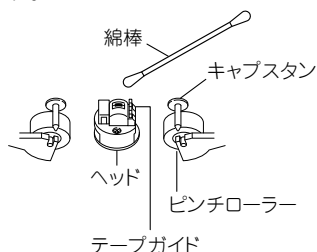
90分を越えるテープは大変薄く、ピンチローラーに巻き付いたり、切れるなどの不具合が起こりやすいので、ご使用にならないでください。

メンテナンス

ヘッド回りのクリーニング

いつまでも最良の状態でご使用になるには、テープ再生時間約10時間ごとに、ヘッド、キャプスタン、ピンチローラーのクリーニングを心がけてください。クリーニングは、次の手順で行ってください。

(1) カセットホルダーを開けます。

(2) ヘッド、およびキャプスタン、ピンチローラーを、市販のクリーニング液を含ませた綿棒で注意深くクリーニングします。

ヘッドの消磁

録音・再生ヘッドが磁気を帯びると雑音が大きくなります。市販の消磁器(ヘッドイレーサー)で消磁してください。

POINT

- ヘッドのテープガイドなど、精密に調整された部分があります。クリーニングの際は、引っかけたり、強い衝撃などを加えないように注意してください。

お手入れのしかた

前面パネル、ケースなどが汚れたときは、柔らかい布でからぶきします。シンナー、ベンジン、アルコールなどは変色の原因になることがありますので、ご使用にならないでください。

接点復活剤について

接点復活剤は故障の原因となることがありますので、ご使用にならないでください。特にオイルを含んだ接点復活剤は、プラスチック部品を変形させることがあります。

メモリーバックアップ

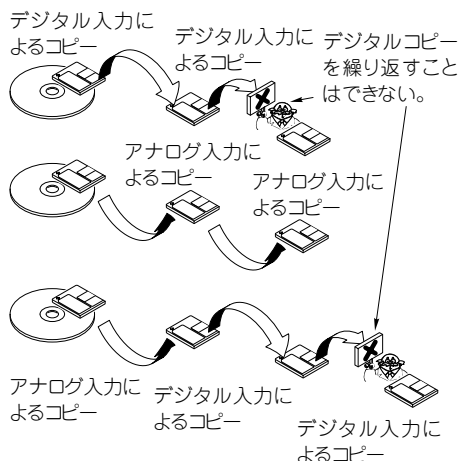
電源プラグをコンセントから抜くと消えるメモリーの内容

ー時計表示(約3分間バックアップ)

電源プラグをコンセントから抜くと約1日で消えるメモリーの内容

- **アンプ部**
  ーインプットセレクター
  ーボリューム値
  ーAUXインプット値
  ートーンコントロール値
  ータイマーの設定内容
- **チューナー部**
  ー受信バンド
  ー周波数
  ープリセット放送局
  ーオート選局の設定
- **カセットデッキ部**
  ーテープ走行方向
  ーテープイコライザー
  ーリバースモード
- **MD部**
  ーレックモード
  ーレックスピード

デジタル録音とSCMSについて

SCMS(シリアルコピーマネージメントシステム)とは、著作権保護のため、各種のデジタルオーディオ機器の間でデジタル信号をデジタル信号のまま録音できるのは、一世代だけと規定したものです。

あなたが録音、録画したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。なお、デジタル録音機器(この商品)の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。なお、私的録音補償金に関するお問い合わせは、下記にお願いいたします。

社団法人私的録音補償金管理協会
東京都新宿区西新宿3丁目20番2号
東京オペラシティータワー11F
電話(03)5353-0336
FAX.(03)5353-0337

故障かな?と思ったら

調子が悪いと故障と考えがちですが、サービスに依頼する前に症状に合わせて一度チェックしてみてください。

マイコンをリセットするには

電源が入っているときに、接続コードを抜き差ししたり、あるいは外部からの要因により、マイコンが誤動作することがあります。このようなときは、リセットしてみてください。

電源コードのプラグをコンセントから抜き、I/⏻ ON/STANDBY（オン スタンバイ）キーを押しながら電源コードのプラグを差し込みます。マイコンが初期状態になり、記憶されていた内容は消去されます。

知識編

共通部

症状	対策
音が出ない。	→ 音量を上げる。（18ページ） → ヘッドホンが差し込まれているときは抜く。（12ページ）
ヘッドホンから音がでない。	→ ヘッドホンプラグが正しく差込まれているか確認する。（12ページ）
雑音が入る。	→ 電気器具の電源を切ってみる。 → テレビから離す。

アンプ／スピーカー部

症状	対策
時刻表示が、ある時間で止まったまま点滅している。	→ 現在時刻をもう一度合わせる。（13ページ）
タイマーが作動しない。	→ 現在時刻を合わせていない、または停電があった。現在時刻を合わせる。（13ページ） → タイマーのオン時刻とオフ時刻を設定する。（68～77ページ）
放送局が受信できない。	→ 付属のAMループアンテナをAM ANTENNA（アンテナ）端子に接続する。（11ページ） → FMロッドアンテナを引き伸ばして、受信状態の良い方向に向ける。（11ページ） → 放送バンドを合わせる。（14～17ページ） → 受信したい放送局の周波数に合わせる。（17ページ）
プリセットしたあと、リモコンの⏮P.CALL（プリセットコール）キー1または⏭P.CALL（プリセットコール）キーを押しても放送局を受信できない。	→ 受信できる周波数の放送局をプリセットする。（14～17ページ） → 長い間、電源コンセントを抜いていたため、メモリーが消えてしまった。もう一度プリセットする。（14～17ページ）

次ページに続く➔

リモコン部

症状	対策
リモコンで操作できない。	→ 新しい乾電池に交換する。（10ページ） → 操作する位置が遠すぎる、または障害物がある。リモコンを本体のリモコン受光部に向けて操作する。（10ページ）

MDレコーダー部（MD規格上の症状）

症状	対策
短い曲を消しても、記録可能時間が増えない。	→ 消去された曲が短い場合は、記録可能時間が増えないことがあります。 → 編集を繰り返したMDの場合、残量時間が増えないことがあります。
曲をつなぐことができない。	→ 編集を繰り返したMDの場合、曲をつなげないことがあります。
録音済みの時間と、録音可能時間の合計がMD全体の記録時間と一致しない。	→ 2秒間を最小単位として録音が行われるため、表示時間が一致しないことがあります。
早送り、早戻しをすると、音が途切れる。	→ 編集を繰り返したMDの場合、音が途切れることがあります。
"READING"が表示される時間が長い。	→ 新品の録音用MD（全く録音されていないもの）を入れた場合、通常よりも長い間"READING"が表示されます。

MDレコーダー部

症状	対策
再生キーを押しても音が出ない	→ 録音済みのMDを入れる。
録音ができない	→ 誤消去防止つまみを元に戻す。（80ページ） → 入力切換を録音したい音楽ソースにする。（43ページ）
録音レベルが低い（AUX使用時）	→ AUX INPUTレベルを調節する。（37ページ）
音がひずむ	→ 録音レベルの設定をしていない。（AUX使用時） AUX INPUTレベルを調節する。（37ページ）

CDプレーヤー部

症状	対策
再生キーを押しても音が出ない。	→ CDを正しく入れる。(18ページ) → 「ディスク取扱上のご注意」を参照し、ディスクを清掃する。(79〜80ページ) → 「結露にご注意」を参照し、露を蒸発させる。(79ページ)
音が飛ぶ。	→ 「ディスク取扱上のご注意」を参照し、ディスクを清掃する。(79〜80ページ) → CDに傷がついていないか確認する。 → 振動のない場所に設置する。

カセットデッキ部

症状	対策
再生キーを押しても音が出ない。	→ 「ヘッド回りのクリーニング」を参照し、ヘッドを清掃する。(81ページ) → 巻き取りムラがありテープが重くなっている。(81ページ) → 録音済みテープを使う。
操作キーを押しても動かない。	→ カセットホルダーを完全に閉める。(22ページ)
カセットホルダーが開かない。	→ 停止状態で▲PUSH(プッシュ) OPEN(オープン)部分を押す。 → マイコンをリセットする。(83ページ)
音がかすれたり高音が出なくなる。	→ 「ヘッド回りのクリーニング」を参照し、ヘッドを清掃する。(81ページ) → テープがのびている。
音がおかしい。	→ 録音レベルの設定をしていない。(AUX使用時) AUX INPUT(インプット)レベルを調節する。(37ページ) → ドルビー録音されたテープを、テープイコライザーをオフで再生している。テープイコライザーをオンにする。(23ページ)
録音できない。	→ 「ヘッドの消磁」をみて消磁する。(81ページ) → ツメの折れていないテープを使う、または穴をふさぐ。(81ページ) → カセットホルダーを完全に閉める。(30ページ) → 入力切換を録音したいソースにする。 → テープの走行方向をかえる、またはテープを裏返す。(31ページ)

メッセージ表示の一覧

メッセージ		意味
BLANK（ブランク） DISC（ディスク）	→	何も録音されていないMDです。
BUFFER（バッファー） OVER（オーバー）	→	74分以内に101曲以上のCDを倍速録音しようとしている。
CAN'T（キャント） EDIT（エディット）	→	長さが短すぎる曲などを編集しようとしている。
CD LID（リッド） OPEN（オープン）	→	CDのドアが開いている。
CD NO（ノー） DISC（ディスク）	→	CDが入っていない。
UTOC（ユートック） ERROR（エラー）	→	UTOC（ユートック）* の内容が異常である。"ALL（オール） ERASE（イレース）"を行う。（55ページ） それができないときは、MDを取り換える。
DISC（ディスク） FULL（フル）	→	録音可能なエリアがないか、256曲目を録音しようとしている。 録音用のMDを入れ換える。一枚のディスクには256曲以上録音できません。
MD NO（ノー） DISC（ディスク）	→	MDが入っていない。
MD WRITING（ライティング）	→	編集や録音したときの各種の情報を書き込んでいる。
NO（ノー） FILE	→	ディスクにMP3またはWMAファイルが収録されていない。
NO（ノー） TRACKS（トラックス）	→	曲は録音されていないが、ミニディスクタイトルが書かれている。
FULL（フル）	→	CDまたはMDのプログラムで33曲目を選択しようとしている。
PGM（プログラム） Mode（モード）	→	プログラムモードのときにランダム再生、倍速録音（CD→MD）、タイトル入力（MD）をしようとしている。プログラムモードを解除する。（39、42、48ページ）
PLAY（プレイ） ONLY（オンリー）	→	再生専用のMDに録音しようとしている。録音用のMDを入れる。
PROTECTED（プロテクテッド）	→	MDが"録音禁止"されている。"録音可能"にする。（80ページ） カセットのツメが折れている。ツメを折った所だけにテープを貼る。（81ページ）
RANDOM（ランダム） Mode（モード）	→	CDランダムモードのときにMD O.T.E.（ワンタッチエディット）録音またはTAPE O.T.E.（テープワンタッチエディット）録音をしようとしている。ランダムモードを解除する。（39ページ）

メッセージ		意味
READING	→	TOC* 情報を読み込んでいる。
SCMS	→	SCMSによりデジタルコピー禁止のソースをデジタル録音しようとしている。アナログ録音を選んでください。（28ページ）
TEXT FULL	→	1Kバイト以上のテキスト情報があるCD TEXTのテキスト情報を表示しようとしている。
TITLE FULL	→	最大文字数の制限を超えて、タイトルを入力しようとしている。入力できる文字数は、全体で1792文字、1曲につき80文字（"LP：" も含む）までです。

* すべてのミニディスクには音声信号以外にTOC（Table of Contents）という情報が記録されています。TOCとは本の目次に相当し、曲数や演奏時間、文字情報などのうち、書き直すことのできないものが入っています。
TOC 以外に録音用ミニディスクに特有な情報をUTOCと呼びます。このUTOCには、曲数や演奏時間、文字情報のうち、書き直し可能な情報が入っています。

保証とアフターサービス(よくお読みください)

保証書(別途添付)

製品には保証書が(別途)添付されております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間

保証期間は、お買い上げの日より1年間です。
電池や、一部の消耗部品の交換、ならびに落下、水没など、不適切なご使用による故障の場合は、保証期間内でも有料となります。詳しくは保証書をご覧ください。

修理に関するご相談ならびにご不明な点は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または最寄りのケンウッドサービス窓口にお問い合わせください。
(お問い合わせ先は、添付の「ケンウッドサービス網」をご覧ください。)

補修用性能部品の保有期間

当社は、このステレオの補修用性能部品を、製造打ち切り後8年保有しております。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

シリアル番号について

システム商品の各機器にシリアル番号が付けられておりますが、保証書にはシステム管理用として、別のシリアル番号が印刷されています。
付属の保証書で、お買い上げのシステム機器(基本システム)すべての保証修理が受けられます。

修理を依頼される時は

「故障かな?と思ったら」に従って調べていただき、なお異常がある時は、製品の使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店または最寄りのケンウッドサービス窓口にお問い合わせください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

保証期間中は

保証期間中は保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービス窓口が修理をさせていただきます。
修理に際しましては保証書をご提示ください。

保証期間が過ぎている時は

保証期間が過ぎている時は、修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

出張修理/持込修理

「出張修理」、「持込修理」のどちらが適用されるかは機種によって異なります。保証書の記載をご確認ください。出張修理を依頼される時は、次のことをお知らせください。

- 製品名
- 製造番号(Serial No.)
- お買い上げ年月日
- 故障の症状(できるだけ具体的に)
- ご住所(ご近所の目印等も併せてお知らせください)
- お名前、電話番号、訪問ご希望日

修理料金の仕組み

(有料修理の場合は、次の料金をいただきます)

- 技術料: 故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等の設備費や、一般管理費などが含まれています。
- 部品代: 修理に使用した部品の代金です。その他、修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
- 出張料: 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

お買上げ店名

電話 (　　　　　)　　　　-

定格

アンプ部

実用最大出力 .... 4W＋4W（EIAJ 4Ω）

チューナー部

FMチューナー部
　受信周波数範囲 .... 76 MHz～90 MHz
　TV1ch、2ch、3ch

AMチューナー部
　受信周波数範囲 ...... 531 kHz～1,629 kHz

MDレコーダー部

読み取り方式 .... 非接触光学式読み取り（半導体レーザー）
記録方式 .... 磁界変調オーバーライト方式
音声圧縮方式 .... ATRAC、ATRAC 3
D/Aコンバーター .... 1 Bit
ワウ・フラッター（EIAJ） .... 測定限界以下

CDプレーヤー部

読み取り方式 .... 非接触光学式読み取り（半導体レーザー）
D/Aコンバーター .... 1 Bit
オーバーサンプリング周波数
.... 8 fs (352.8 kHz)
周波数特性 (EIAJ) .... 20 Hz～20kHz
ワウ・フラッター (EIAJ) .... 測定限界以下

カセットデッキ部

トラック方式 ... 4トラック2チャンネルステレオ
録音方式 .... 交流バイアス（周波数：105 kHz）
ヘッド
　録音／再生ヘッド 1
　消去用 1
早巻き時間 約110秒 (C-60)

スピーカー部

エンクロージャー .... バスレフ型
スピーカーユニット .... 80 mm コーン型

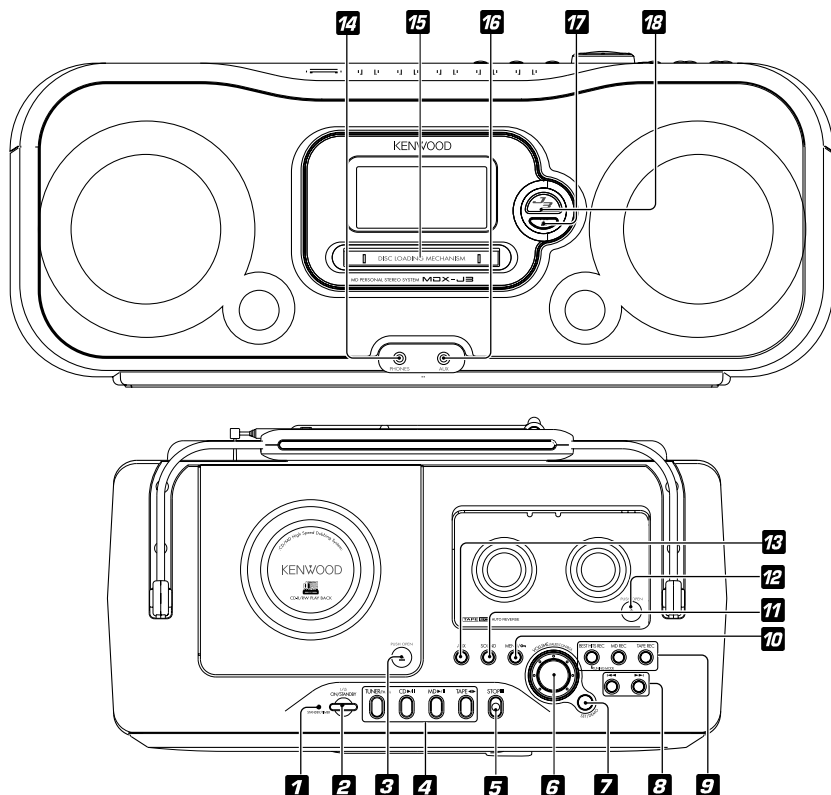
電源部・その他

電源電圧・電源周波数
.... AC100 V, 50Hz/60 Hz
定格消費電力
（電気用品安全法に基づく表示） .... 30 W
最大外形寸法 .... 幅　401 mm
（突起物含む）　高さ　166 mm
　奥行　225 mm
質量（重量） .... 5 kg（正味）

POINT

- これらの定格およびデザインは、技術開発に伴い予告なく変更することがあります。
- 極端に寒い（水が凍るような）場所では十分な性能が発揮できないことがあります。

各部の名前

本体部

1 STANDBY/TIMERインジケーター（91）
2 I/⏻ON/STANDBY
3 ⏏PUSH OPEN（CD取り出し）（18）
4 TUNER/FM AM（14）
CD ▶/❚❚(再生/一時停止)（18）
MD ▶/❚❚(再生/一時停止)（20）
TAPE◀▶（再生）（22）
5 STOP■（停止）（13）
6 VOLUME/MULTI-CONTROL
7 SET／DEMO（2、13）
8 ⏮, ⏭（スキップ）
9 BEST HITS REC（47）
TUNING MODE（25）
MD REC（43）
TAPE REC（45）
10 MENU/🔑（13）
11 SOUND（36）
12 ⏏PUSH OPEN（TAPE取り出し）（22）
13 AUX（27）
14 PHONES（12）
15 MD挿入口（20）
16 AUX外部機器（12）
17 ⏏（MD取り出し）（21）
18 リモコン受光部（10）

カッコ内の数字は参照ページです。

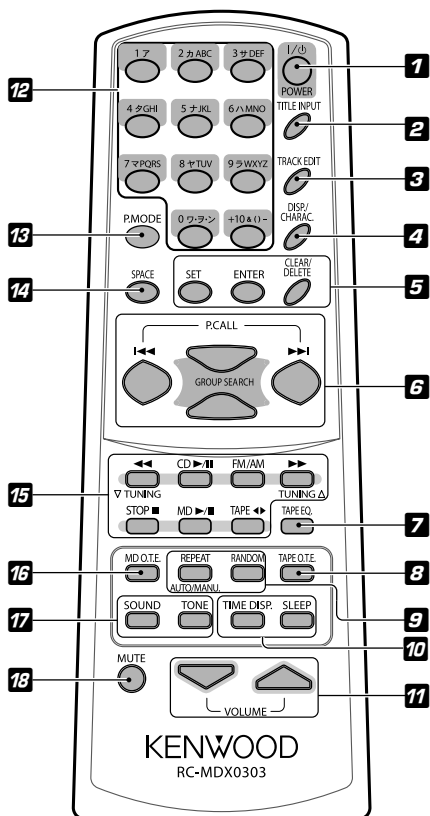
スタンバイ状態について

本機のスタンバイインジケーターが点灯中は、メモリー保護のため、微弱な通電を行っています。これをスタンバイ状態といいます。このとき、リモコンで本機をオンできます。

STANDBY（スタンバイ）/TIMER（タイマー）インジケーターの表示と本機の状態

インジケーターの状態	本機の状態
消灯	電源がオンの状態になっている。
赤色の点灯	電源コードを壁のコンセントにつないでスタンバイ状態になっている。
緑色の点灯	タイマーが実行状態になっている。
緑色の点滅	タイマーの設定エラー、または時計を合わせないでタイマーを設定しようとした。停電などによりタイマーが正しく実行されなかった。
赤色の点滅	電気系統の故障です。点検、修理を販売店または当社サービス拠点にご依頼ください。

リモコン

本体部と同じ名称のキーは本体部と同じ働きをします。

1. POWER I/⏻
2. TITLE INPUT（48）
3. TRACK EDIT（51）
4. DISP./CHARAC.（33、48）
5. SET（13）
   ENTER（17）
   CLEAR/DELETE（38、48）
6. ⏮ P. CALL ⏭（スキップ）
   GROUP SEARCH（61）
7. TAPE EQ.（23）
8. TAPE O.T.E.（31）
9. RANDOM（39）
   REPEAT（39）
   AUTO/MANU.（25）
10. TIME DISP.（33）
    SLEEP（77）
11. VOLUME（18）
12. 数字（17）／文字入力（48）
13. P.MODE（38、61）
14. SPACE（48）
15. ◄◄▽ TUNING
    ►► TUNING △
    CD ►/II（再生/一時停止）（18）
    FM/AM（14）
    MD ►/II（再生/一時停止）（20）
    TAPE ◄►（再生）（22）
    STOP■（停止）
16. MD O.T.E.（29）
17. SOUND（36）
    TONE（36）
18. MUTE（37）

カッコ内の数字は参照ページです。

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒150-8501　東京都渋谷区道玄坂 1-14-6

商品および商品の取り扱いに関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。

カスタマーサポートセンター東京　電話（03）3477-5335　FAX（03）3477-5334　〒153-0042東京都目黒区青葉台 3-17-9

カスタマーサポートセンター大阪　電話（06）6394-8085　FAX（06）6394-8308　〒532-0034大阪市淀川区野中北 2-1-22

アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、添付の「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービス窓口にご相談ください。